

宮崎県版レッドリスト（2020年度改訂版） カテゴリー等変更理由一覧

分類群	追加 変更	種名（種・亜種・変種）	学名	旧宮崎県 区分	新宮崎県 区分	環境省 区分	種の 重要度	変更理由
種子植物	変更	タチミゾカクシ	<i>Lobelia dopatrioides</i> var. <i>cantonensis</i>	EX-r	EX-r	CR	A	学名、改訂新版日本の野生植物で学名が変更された。
種子植物	変更	レンブクソウ	<i>Adoxa moschatellina</i>	CR-d	EX-r		A	県カテゴリー、生育地が砂防ダムで壊滅した。
種子植物	変更	マツムシソウ	<i>Scabiosa japonica</i>	CR-d	EX-r		A	県カテゴリー、ここ50年以上確認されていない。生育環境も激減している。
種子植物	変更	ムラサキ	<i>Lithospermum murasaki</i>	EX-g	EX-g	EN	B	学名、改訂新版日本の野生植物で学名が変更された。
種子植物	変更	オナモミ	<i>Xanthium strumarium</i> subsp. <i>sibiricum</i>	DD-1	EX-g	VU	C	学名、改訂新版日本の野生植物で変更。県カテゴリー、標本が県博に入った。
種子植物	変更	ツルラン	<i>Calanthe triplicata</i>	CR-r	CR-d	VU	B	県カテゴリー、近年確認されていない。
種子植物	変更	アオバスゲ	<i>Carex insaniae</i> var. <i>papillatuculmis</i>	DD-1	CR-d		B	県カテゴリー、近年確認されていない。
種子植物	変更	チャボイ	<i>Eleocharis parvula</i>	CR-r	CR-d	VU	A	県カテゴリー、近年確認されていない。
種子植物	変更	セイダカハリイ	<i>Eleocharis attenuata</i>	CR-r	CR-d		B	県カテゴリー、近年確認されていない。
種子植物	変更	ヤリハリイ	<i>Eleocharis congesta</i> var. <i>subvivipara</i>	CR-g	CR-d		C	県カテゴリー、近年確認されていない。
種子植物	変更	アオウシノケグサ	<i>Festuca ovina</i> var. <i>coreana</i>	VU-g	CR-d		C	学名、改訂新版日本の野生植物で変更。県カテゴリー、近年確認されていない。
種子植物	変更	キビナワシロイチゴ	<i>Rubus yoshinoi</i>	CR-r	CR-d		A	県カテゴリー、近年確認されていない。
種子植物	変更	ホタルカズラ	<i>Aegonychon zollingeri</i>	CR-r	CR-d		B	学名、改訂新版日本の野生植物で変更。県カテゴリー、近年確認されていない。
種子植物	変更	オグラコウホネ	<i>Nuphar oguraensis</i>	EN-r	CR-r	VU	B	県カテゴリー、減少している。
種子植物	変更	オガタテンナンショウ	<i>Arisaema ogatae</i>	CR-r	CR-r	CR	A	和名・学名、改訂新版日本の野生植物で変更。旧名ツクシテンナンショウ
種子植物	変更	チゴユリ	<i>Disporum smilacinum</i>	EN-r	CR-r		B	県カテゴリー、減少している。
種子植物	変更	ササバギンラン	<i>Cephalanthera longibracteata</i>	EX-r	CR-r		B	県カテゴリー、新たな産地が確認された。
種子植物	変更	キバナノセッコク	<i>Dendrobium catenatum</i>	CR-r	CR-r	EN	A	学名、改訂新版日本の野生植物で学名が変更された。
種子植物	変更	マツラン	<i>Gastrochilus matsuran</i>	CR-r	CR-r	VU	B	学名、改訂新版日本の野生植物で学名が変更された。
種子植物	変更	タコガタサギソウ	<i>Habenaria lacertifera</i> var. <i>triangularis</i>	CR-d	CR-r	CR	A	県カテゴリー、新たな産地が確認された。
種子植物	変更	ヒメノヤガラ	<i>Hetaeria sikokiana</i>	CR-r	CR-r	VU	C	学名、改訂新版日本の野生植物で学名が変更された。
種子植物	変更	ギボウシラン	<i>Liparis auriculata</i>	CR-d	CR-r	EN	B	県カテゴリー、新たな産地が確認された。
種子植物	変更	アオフタバラン	<i>Listera makinoana</i>	CR-d	CR-r		C	県カテゴリー、新たな産地が確認された。
種子植物	変更	ミクリ	<i>Sparganium erectum</i>	EN-r	CR-r	NT	B	県カテゴリー、減少している。
種子植物	変更	クロイヌノヒゲモドキ	<i>Eriocaulon atroides</i>	EN-r	CR-r	VU	A	県カテゴリー、減少している。
種子植物	変更	セイダカヌカボシソウ	<i>Luzula jimboi</i> subsp. <i>jimboi</i>	CR-d	CR-r	EN	A	県カテゴリー、かつての産地周辺で確認された。
種子植物	変更	ミセンアオスゲ	<i>Carex leucochloa</i> var. <i>horikawae</i>	CR-g	CR-r		B	県カテゴリー、もともと生育地が少ないと判断した。
種子植物	変更	トラノハナヒゲ	<i>Rhynchospora brownii</i>	VU-r	CR-r		C	県カテゴリー、減少している。
種子植物	変更	コウボウ	<i>Anthoxanthum nitens</i> var. <i>sachalinense</i>	CR-r	CR-r		B	学名、改訂新版日本の野生植物で学名が変更された。
種子植物	変更	ホガエリガヤ	<i>Brylkinia caudata</i>	EX-r	CR-r		B	県カテゴリー、新たな産地が確認された。
種子植物	変更	タチネズミガヤ	<i>Muhlenbergia hakonensis</i>	EN-r	CR-r		B	県カテゴリー、減少している。
種子植物	変更	カリヤスモドキ	<i>Miscanthus oligostachyus</i>	CR-d	CR-r		A	県カテゴリー、かつての産地周辺で確認された。
種子植物	変更	ヒメイカリソウ	<i>Epimedium trifoliatobinatum</i>	CR-r	CR-r		B	学名、改訂新版日本の野生植物で学名が変更された。
種子植物	変更	アズマイチゲ	<i>Anemone raddeana</i>	EN-r	CR-r		A	県カテゴリー、減少している。
種子植物	変更	マンセンカラマツ	<i>Thalictrum aquilegifolium</i> var. <i>sibiricum</i>	EN-r	CR-r	EN	B	県カテゴリー、減少している。
種子植物	変更	ノカラマツ	<i>Thalictrum simplex</i> var. <i>brevipes</i>	CR-d	CR-r	VU	B	県カテゴリー、新たな産地が確認された。
種子植物	変更	モミジカラマツ	<i>Trautvetteria palmata</i>	CR-d	CR-r		A	学名、改訂新版日本の野生植物で変更。県カテゴリー、生育地が確認された。
種子植物	変更	レンリソウ	<i>Lathyrus quinquenervius</i>	EN-r	CR-r		A	県カテゴリー、減少している。
種子植物	変更	ツルフジバカマ	<i>Vicia amoena</i>	EN-r	CR-r		B	県カテゴリー、減少している。
種子植物	変更	テリハキンバイ	<i>Potentilla riparia</i>	CR-d	CR-r		A	県カテゴリー、かつての産地周辺で確認された。
種子植物	変更	カワゴケソウ	<i>Cladopus doranus</i>	CR-r	CR-r	EN	A	学名、改訂新版日本の野生植物で学名が変更された。
種子植物	変更	クモイオトギリ	<i>Hypericum</i> × <i>hyugamontanum</i>	DD-1	CR-r		A	県カテゴリー、かつての産地周辺で確認された。
種子植物	変更	アゼオトギリ	<i>Hypericum oliganthum</i>	DD-1	CR-r	EN	B	県カテゴリー、新たな産地が確認された。
種子植物	変更	コミゾソバの一種	<i>Persicaria mikawana</i>	CR-d	CR-r		A	県カテゴリー、新たな産地が確認された。
種子植物	変更	オオヤマフスマ	<i>Arenaria lateriflora</i>	CR-r	CR-r		B	学名、改訂新版日本の野生植物で学名が変更された。
種子植物	変更	サワトラノオ	<i>Lysimachia leucantha</i>	CR-d	CR-r	EN	B	県カテゴリー、かつての産地周辺で確認された。
種子植物	変更	ベニバナギンリョウソウ	<i>Monotropastrum</i> sp.	CR-r	CR-r		A	学名、改訂新版日本の野生植物で学名が変更された。
種子植物	変更	ツクシコメツツジ	<i>Rhododendron sohayakiense</i>	CR-r	CR-r		A	学名、改訂新版日本の野生植物で学名が変更された。
種子植物	変更	ツルモウリシカ	<i>Vincetoxicum tanakae</i>	EN-r	CR-r		B	学名、改訂新版日本の野生植物で変更。県カテゴリー、減少している。
種子植物	変更	ナンゴククガイソウ	<i>Veronicastrum japonicum</i> var. <i>australe</i>	EX-r	CR-r	VU	A	県カテゴリー、かつての産地周辺(シカネット内)で確認された。
種子植物	変更	シロネ	<i>Lycopus lucidus</i>	EN-r	CR-r		B	県カテゴリー、減少している。
種子植物	変更	ツクシトウヒレン	<i>Saussurea higomontana</i>	CR-r	CR-r	EN	A	学名、改訂新版日本の野生植物で学名が変更された。
種子植物	変更	チョウセンヤマニガナ	<i>Lactuca raddeana</i> var. <i>raddeana</i>	CR-d	CR-r		A	県カテゴリー、ヤマニガナ類の精査により確認された。
種子植物	変更	ヤナギノギクの一種	<i>Aster</i> sp.	CR-r	CR-r		B	和名、旧名ヤマジノギクの一種。

宮崎県版レッドリスト（2020年度改訂版） カテゴリー等変更理由一覧

分類群	追加 変更	種名（種・亜種・変種）	学名	旧宮崎県 区分	新宮崎県 区分	環境省 区分	種の 重要度	変更理由
種子植物	変更	ヒメシオン	<i>Aster festigiatus</i>	CR-g	CR-r		C	県カテゴリー、もともと生育地が少ないと判断した。
種子植物	変更	イナカギク	<i>Aster semialexicaulis</i>	EN-r	CR-r		B	県カテゴリー、減少している。
種子植物	変更	ナガバシロヨメナ	<i>Aster leiophyllus</i> var. <i>tenuifolius</i>	CR-r	CR-r		A	学名、改訂新版日本の野生植物で学名が変更された。
種子植物	変更	ケシロヨメナ	<i>Aster leiophyllus</i> var. <i>intermedius</i>	CR-r	CR-r		B	学名、改訂新版日本の野生植物で学名が変更された。
種子植物	変更	ウラギク	<i>Tripolium pannonicum</i>	CR-r	CR-r	NT	B	学名、改訂新版日本の野生植物で学名が変更された。
種子植物	変更	イワギク	<i>Chrysanthemum zawadskii</i>	CR-r	CR-r	VU	B	学名、改訂新版日本の野生植物で学名が変更された。
種子植物	変更	カララハハコ	<i>Anaphalis margaritacea</i> var. <i>yedoensis</i>	CR-r	CR-r		A	学名、改訂新版日本の野生植物で学名が変更された。
種子植物	変更	アキノハハコグサ	<i>Pseudognaphalium hypoleucum</i>	EN-r	CR-r	EN	B	学名、改訂新版日本の野生植物で変更。県カテゴリー、減少している。
種子植物	変更	ミズギク	<i>Inula ciliaris</i> var. <i>ciliaris</i>	CR-r	CR-r		A	学名、改訂新版日本の野生植物で学名が変更された。
種子植物	変更	ハナビゼリ	<i>Angelica inaequalis</i>	EN-r	CR-r		B	県カテゴリー、減少している。
種子植物	変更	ホタルサイコ	<i>Bupleurum longiradiatum</i> var. <i>breviradiatum</i>	CR-r	CR-r		A	学名、改訂新版日本の野生植物で学名が変更された。
種子植物	変更	カノツメソウ	<i>Sporiopimpinella calycina</i>	CR-r	CR-r		B	学名、改訂新版日本の野生植物で学名が変更された。
種子植物	変更	アマノホシクサ	<i>Eriocaulon amanoanum</i>	CR-d	CR-g	CR	A	県カテゴリー、かつての産地周辺で確認された。
種子植物	変更	タイワシヤマイ	<i>Schoenoplectiella wallichii</i>	EN-g	CR-g		C	学名、改訂新版日本の野生植物で変更。県カテゴリー、減少している。
種子植物	変更	イヌハギ	<i>Lespedeza tomentosa</i>	EN-g	CR-g	VU	B	県カテゴリー、減少している。
種子植物	変更	マキエハギ	<i>Lespedeza virgata</i>	EN-g	CR-g		B	県カテゴリー、減少している。
種子植物	変更	イヌノフグリ	<i>Veronica polita</i>	CR-g	CR-g	VU	B	学名、改訂新版日本の野生植物で学名が変更された。
種子植物	変更	ミシマサイコ	<i>Bupleurum falcatum</i>	CR-g	CR-g	VU	B	学名、改訂新版日本の野生植物で学名が変更された。
種子植物	変更	ネズ	<i>Juniperus rigida</i>	CR-r	EN-r		C	県カテゴリー、シカの忌避種で新たな産地や幼樹が確認された。
種子植物	変更	サイゴクヒメコウホネ	<i>Nuphar saikokuensis</i>	VU-r	EN-r	VU	B	県カテゴリー、減少している。
種子植物	変更	クロフネサイシン	<i>Asarum dimidiatum</i>	VU-r	EN-r	NT	B	県カテゴリー、減少している。
種子植物	変更	サンヨウアオイ	<i>Asarum hexalobum</i>	VU-r	EN-r		B	県カテゴリー、減少している。
種子植物	変更	タイリンアオイ	<i>Asarum asaroides</i>	VU-r	EN-r		B	県カテゴリー、減少している。
種子植物	変更	タマガワホトトギス	<i>Tricyrtis latifolia</i>	CR-r	EN-r		B	県カテゴリー、新たな産地が確認された。
種子植物	変更	ジンバイソウ	<i>Platanthera florentii</i>	VU-r	EN-r		B	県カテゴリー、減少している。
種子植物	変更	ヤマサギソウ	<i>Platanthera mandarinorum</i> subsp. <i>mandarinorum</i> var. <i>oreades</i>	VU-r	EN-r		C	県カテゴリー、減少している。
種子植物	変更	コハリスゲ	<i>Carex hakonensis</i>	CR-r	EN-r		A	県カテゴリー、新たな産地が確認された。
種子植物	変更	ツルカミカワスゲ	<i>Carex sabyensis</i> var. <i>rostrata</i>	VU-r	EN-r		B	県カテゴリー、減少している。
種子植物	変更	ウシクグ	<i>Cyperus orthostachyus</i>	VU-r	EN-r		C	県カテゴリー、減少している。
種子植物	変更	ツクバナンブスズ	<i>Sasa tsukubensis</i>	VU-r	EN-r		B	県カテゴリー、減少している。
種子植物	変更	キリシマザサ	<i>Sasa takizawana</i> subsp. <i>nakashimana</i>	EN-r	EN-r		B	県カテゴリー、シカ食害等で減少している。
種子植物	変更	ミチシバ	<i>Melica onoei</i>	NT-r	EN-r		C	県カテゴリー、減少している。
種子植物	変更	ビロードキビ	<i>Urochloa villosa</i>	EN-r	EN-r	EN	B	学名、改訂新版日本の野生植物で学名が変更された。
種子植物	変更	クマガワブドウ	<i>Vitis kiusiana</i>	EN-r	EN-r	CR	A	学名、改訂新版日本の野生植物で学名が変更された。
種子植物	変更	ハカマカズラ	<i>Phanera japonica</i>	VU-r	EN-r		B	学名、改訂新版日本の野生植物で変更。県カテゴリー、減少している。
種子植物	変更	シバナム	<i>Smithia ciliata</i>	VU-r	EN-r	DD	B	県カテゴリー、減少している。
種子植物	変更	ヒメヨツバハギ	<i>Vicia venosa</i> subsp. <i>cuspidata</i> var. <i>cuspidata</i> f. <i>minor</i>	VU-r	EN-r		B	学名、改訂新版日本の野生植物で変更。県カテゴリー、減少している。
種子植物	変更	ヒメツルキジムシロ	<i>Potentilla x yamanakae</i>	EN-r	EN-r		B	学名、改訂新版日本の野生植物で学名が変更された。
種子植物	変更	チョウセンナニワズ	<i>Daphne pseudomezereum</i> var. <i>koreana</i>	CR-r	EN-r	VU	A	学名、改訂新版日本の野生植物で変更。県カテゴリー、新たな生育地が確認された。
種子植物	変更	オオネバリタデ	<i>Persicaria viscofera</i> var. <i>robusta</i>	VU-r	EN-r		B	県カテゴリー、減少している。
種子植物	変更	アオイゴケ	<i>Dichondra micrantha</i>	VU-r	EN-r		C	県カテゴリー、減少している。
種子植物	変更	オウギカズラ	<i>Ajuga japonica</i>	VU-r	EN-r		B	県カテゴリー、減少している。
種子植物	変更	ナリヒラモチ	<i>Ilex x kiusiana</i>	EN-r	EN-r		A	学名、改訂新版日本の野生植物で学名が変更された。
種子植物	変更	バアソブ	<i>Codonopsis ussuriensis</i>	VU-r	EN-r	VU	C	県カテゴリー、減少している。
種子植物	変更	ヤマシガナ	<i>Lactuca raddeana</i> var. <i>elata</i>	NT-r	EN-r		B	県カテゴリー、減少している。
種子植物	変更	カララボウフウ	<i>Peucedanum terebinthaceum</i>	VU-r	EN-r		B	県カテゴリー、減少している。
種子植物	変更	ムカゴニンジン	<i>Sium ninsi</i>	VU-r	EN-r		A	県カテゴリー、減少している。
種子植物	変更	コウホネ	<i>Nuphar japonica</i>	VU-g	EN-g		C	県カテゴリー、減少している。
種子植物	変更	キスゲ	<i>Hemerocallis citrina</i> var. <i>vespertina</i>	VU-g	EN-g		C	県カテゴリー、減少している。
種子植物	変更	オオホシクサ	<i>Eriocaulon buergerianum</i>	VU-g	EN-g		C	県カテゴリー、減少している。
種子植物	変更	ツクシナルコ	<i>Carex subcernua</i>	VU-g	EN-g	EN	B	県カテゴリー、減少している。
種子植物	変更	ケヒエスゲ	<i>Carex mayebarana</i>	CR-g	EN-g		C	県カテゴリー、シカネット内で増殖が確認された。
種子植物	変更	ヒカゲスゲ	<i>Carex lanceolata</i>	CR-g	EN-g		C	県カテゴリー、新たな産地が確認された。
種子植物	変更	ウキシバ	<i>Pseudoraphis sordida</i>	EN-g	EN-g		C	学名、改訂新版日本の野生植物で学名が変更された。

宮崎県版レッドリスト（2020年度改訂版） カテゴリー等変更理由一覧

分類群	追加 変更	種名（種・亜種・変種）	学名	旧宮崎県 区分	新宮崎県 区分	環境省 区分	種の 重要度	変更理由
種子植物	変更	ミズキカシグサ	<i>Rotala rosea</i>	VU-g	EN-g	VU	C	県カテゴリー、減少している。
種子植物	変更	オオヒナノウスツボ	<i>Scrophularia kakudensis</i>	CR-g	EN-g		C	県カテゴリー、新たな産地が確認された。
種子植物	変更	ヒメキセワタ	<i>Matsumurella tuberifera</i>	EN-g	EN-g	VU	C	学名、改訂新版日本の野生植物で学名が変更された。
種子植物	変更	キヨスマウツボ	<i>Phacellanthus tubiflorus</i>	VU-g	EN-g		C	県カテゴリー、減少している。
種子植物	変更	ウバタケニンジン	<i>Angelica ubatakensis</i>	CR-g	EN-g	EN	A	県カテゴリー、新たな産地が確認された。
種子植物	変更	ツクシマムシグサ	<i>Arisaema maximowiczii</i>	NT-r	VU-r		C	県カテゴリー、減少している。
種子植物	変更	アギナシ	<i>Sagittaria aginashi</i>	NT-g	VU-r	NT	C	県カテゴリー、減少している。
種子植物	変更	ヒュウガナベワリ	<i>Croomia hyugaensis</i>	NT-r	VU-r		A	県カテゴリー、減少している。
種子植物	変更	サイコクイワギボウシ	<i>Hosta longipes</i> var. <i>caduca</i>	NT-r	VU-r		C	県カテゴリー、減少している。
種子植物	変更	マイヅルソウ	<i>Maianthemum dilatatum</i>	NT-r	VU-r		C	県カテゴリー、減少している。
種子植物	変更	イセウキヤガラ	<i>Bolboschoenus planiculmis</i>	NT-r	VU-r		B	県カテゴリー、減少している。
種子植物	変更	クジュウスゲ	<i>Carex sachalinensis</i> var. <i>elongatula</i>	CR-r	VU-r		A	県カテゴリー、新たな産地が確認された。
種子植物	変更	タガネソウ	<i>Carex siderosticta</i>	NT-r	VU-r		C	県カテゴリー、減少している。
種子植物	変更	イヌクログワイ	<i>Eleocharis dulcis</i>	NT-r	VU-r		C	県カテゴリー、減少している。
種子植物	変更	コシンジュガヤ	<i>Scleria parvula</i>	NT-r	VU-r		C	県カテゴリー、減少している。
種子植物	変更	ミツバベンケイソウ	<i>Hylotelephium verticillatum</i>	NT-r	VU-r		C	県カテゴリー、減少している。
種子植物	変更	ミツモトソウ	<i>Potentilla cryptotaeniae</i>	NT-r	VU-r		C	県カテゴリー、減少している。
種子植物	変更	イワキンバイ	<i>Potentilla dickinsii</i>	VU-r	VU-r		C	学名、改訂新版日本の野生植物で学名が変更された。
種子植物	変更	ヤマイバラ	<i>Rosa sambucina</i>	NT-r	VU-r		C	県カテゴリー、減少している。
種子植物	変更	オニシバリ	<i>Daphne pseudomezereum</i>	NT-r	VU-r		B	県カテゴリー、減少している。
種子植物	変更	シヤクジョウソウ	<i>Hypopitys monstrosa</i>	VU-r	VU-r		B	学名、改訂新版日本の野生植物で学名が変更された。
種子植物	変更	オオキヌタソウ	<i>Rubia chinensis</i> f. <i>mitis</i>	NT-r	VU-r		C	県カテゴリー、減少している。
種子植物	変更	ミヤマイボタ	<i>Ligustrum tschonoskii</i>	NT-r	VU-r		B	県カテゴリー、減少している。
種子植物	変更	ソバナ	<i>Adenophora remotiflora</i>	NT-r	VU-r		A	県カテゴリー、減少している。
種子植物	変更	ヘイケモリアザミ	<i>Cirsium lucens</i> var. <i>bracteosum</i>	EN-r	VU-r	CR	A	県カテゴリー、減少している。
種子植物	変更	ホソバオグルマ	<i>Inula linariifolia</i>	NT-r	VU-r	VU	A	県カテゴリー、減少している。
種子植物	変更	ツクバネウツギ	<i>Abelia spathulata</i> var. <i>spathulata</i>	NT-r	VU-r		C	県カテゴリー、減少している。
種子植物	変更	クロモ	<i>Hydrilla verticillata</i>	NT-r	VU-g		B	県カテゴリー、減少している。
種子植物	変更	フトヒルムシロ	<i>Potamogeton fryeri</i>	NT-g	VU-g		C	県カテゴリー、減少している。
種子植物	変更	カシノキラン	<i>Gastrochilus japonicus</i>	NT-g	VU-g	VU	C	県カテゴリー、減少している。
種子植物	変更	クロホシクサ	<i>Eriocaulon parvum</i>	NT-g	VU-g	VU	C	県カテゴリー、減少している。
種子植物	変更	ハリコウガイゼキショウ	<i>Juncus wallichianus</i>	NT-g	VU-g		B	県カテゴリー、減少している。
種子植物	変更	ヤチカワズスゲ	<i>Carex omiana</i> var. <i>omiana</i>	NT-g	VU-g		C	県カテゴリー、減少している。
種子植物	変更	サワヒメスゲ	<i>Carex mira</i>	EN-g	VU-g		B	県カテゴリー、新たな産地が確認された。
種子植物	変更	オニスゲ	<i>Carex dickinsii</i>	NT-g	VU-g		C	県カテゴリー、減少している。
種子植物	変更	ヒメホタルイ	<i>Schoenoplectiella lineolata</i>	NT-r	VU-g		C	学名、改訂新版日本の野生植物で変更。県カテゴリー、減少している。
種子植物	変更	スズダケ	<i>Sasa borealis</i>	NT-g	VU-g		C	県カテゴリー、減少している。
種子植物	変更	ドジョウツナギ	<i>Glyceria ischyronoura</i>	NT-g	VU-g		c	県カテゴリー、減少している。
種子植物	変更	アイアシ	<i>Phacelurus latifolius</i>	NT-g	VU-g		C	県カテゴリー、減少している。
種子植物	変更	ヒメミソハギ	<i>Ammannia multiflora</i>	EN-g	VU-g		C	県カテゴリー、減少している。
種子植物	変更	コイヌガラシ	<i>Rorippa cantoniensis</i>	VU-r	VU-g	NT	C	県カテゴリー、もともと生育地が広いと判断した。
種子植物	変更	カワラナデシコ	<i>Dianthus superbus</i> var. <i>longicalycinus</i>	NT-g	VU-g		C	県カテゴリー、減少している。
種子植物	変更	ハチジョウウイノコヅチ	<i>Achyranthes bidentata</i> var. <i>hachijoensis</i>	NT-g	VU-g		C	県カテゴリー、減少している。
種子植物	変更	ヒュウガアジサイ	<i>Hydrangea minamitanii</i>	VU-g	VU-g	VU	A	学名、改訂新版日本の野生植物で学名が変更された。
種子植物	変更	ウラジロミツバツツジ	<i>Rhododendron osuzuyamense</i>	NT-g	VU-g		A	県カテゴリー、減少している。
種子植物	変更	アオカモメツル	<i>Vincetoxicum ambiguum</i>	NT-r	VU-g		B	県カテゴリー、減少している。
種子植物	変更	スズメノハコベ	<i>Microcarpaea minima</i>	NT-g	VU-g	VU	C	県カテゴリー、減少している。
種子植物	変更	ニラバラシ	<i>Microtis unifolia</i>	VU-r	NT-r		B	県カテゴリー、新たな産地が確認された。
種子植物	変更	ミヤマイワスゲ	<i>Carex odontostoma</i>	VU-r	NT-r	VU	C	県カテゴリー、新たな産地が確認された。
種子植物	変更	フクオウソウ	<i>Nabalus acerifolius</i>	NT-r	NT-r		C	学名、改訂新版日本の野生植物で学名が変更された。
種子植物	変更	シヤク	<i>Anthriscus sylvestris</i>	NT-r	NT-r		B	学名、改訂新版日本の野生植物で学名が変更された。
種子植物	変更	クワズイモ	<i>Alocasia odora</i>	VU-g	NT-g		C	県カテゴリー、新たな産地が確認された。
種子植物	変更	オヒルムシロ	<i>Potamogeton natans</i>	NT-r	NT-g		B	県カテゴリー、もともと生育地が広いと判断した。
種子植物	変更	エビネ	<i>Calanthe discolor</i>	VU-g	NT-g	NT	C	県カテゴリー、新たな産地が確認された。

宮崎県版レッドリスト（2020年度改訂版） カテゴリー等変更理由一覧

分類群	追加 変更	種名（種・亜種・変種）	学名	旧宮崎県 区分	新宮崎県 区分	環境省 区分	種の 重要度	変更理由
種子植物	変更	クロクモソウ	<i>Micranthes fusca</i> var. <i>kikubuki</i>	NT-g	NT-g		C	学名、改訂新版日本の野生植物で学名が変更された。
種子植物	変更	ウワバミソウ	<i>Elatostema involucratum</i>	VU-g	NT-g		A	県カテゴリー、新たな産地が確認された。
種子植物	変更	フトボスカボタデ	<i>Persicaria tenella</i>	NT-r	NT-g		B	学名、改訂新版日本の野生植物で変更。県カテゴリー、広く分布していたと考えられる。
種子植物	変更	ゴマクサ	<i>Centranthera cochinchinensis</i> var. <i>lutea</i>	NT-g	NT-g	VU	C	学名、改訂新版日本の野生植物で学名が変更された。
種子植物	変更	サツマママアザミ	<i>Cirsium austrokioshianum</i>	NT-g	NT-g	VU	B	学名、改訂新版日本の野生植物で学名が変更された。
種子植物	変更	ヒュウガトウキ	<i>Angelica furcijuga</i>	VU-g	NT-g	VU	A	学名、改訂新版日本の野生植物で変更。県カテゴリー、新たな生育地が確認された。
種子植物	変更	ツクシジャクナゲ	<i>Rhododendron japonoheptamerum</i> var. <i>japonoheptamerum</i>	NT-g	OT-1		B	県カテゴリー、シカの忌避種で新たな産地や幼樹が確認されている。
種子植物	変更	タカトウダイ	<i>Euphorbia lasiocaula</i>	NT-r	DD-1		C	県カテゴリー、標本の多くがアソタイゲキであることが判明。
種子植物	変更	クマノダケ	<i>Angelica mayebarana</i>	DD-1	DD-1	EN	B	学名、改訂新版日本の野生植物で学名が変更された。
種子植物	追加	サカネラン	<i>Neottia nidus-avis</i> var. <i>mandshurica</i>		DD-1	VU	A	追加種、過去の情報が不確実。
種子植物	追加	ヤマボクチ	<i>Synurus palmatopinnatifidus</i> var. <i>indivisus</i>		EX-r		A	追加種、標本が見つかったが、ここ40年以上確認されていない。生育環境も激減している。
種子植物	追加	キクバヤマボクチ	<i>Synurus palmatopinnatifidus</i> var. <i>palmatopinnatifidus</i>		EX-r		A	追加種、標本が見つかったが、ここ40年以上確認されていない。生育環境も激減している。
種子植物	追加	オカスズメノヒエ	<i>Luzula pallidula</i>		CR-d		B	追加種、標本も確認され希少性が確認された。
種子植物	追加	アボイザサ	<i>Sasa samaniana</i>		CR-d		A	追加種、ササ調査で現状不明の種と判断。
種子植物	追加	タンガザサ	<i>Sasa elegantissima</i>		CR-d		B	追加種、ササ調査で現状不明の種と判断。
種子植物	追加	ウンゼンザサ	<i>Cirsium unzenense</i>		CR-d		A	追加種、ササ調査で現状不明の種と判断。
種子植物	追加	ハコネナンブスズ	<i>Sasa shimidzuana</i>		CR-d		A	追加種、ササ調査で現状不明の種と判断。
種子植物	追加	ケスズ	<i>Sasa sikokiana</i>		CR-d		A	追加種、ササ調査で近年、確認されていない。
種子植物	追加	クマイザサ	<i>Sasa senanensis</i>		CR-d		A	追加種、ササ調査で現状不明の種と判断。
種子植物	追加	ヨツバヒヨドリ	<i>Eupatorium glehnii</i>		CR-d		A	追加種、ブナ帯に生育していたが、現状不明である。
種子植物	追加	チョウセンガリヤス	<i>Cleistogenes hackelii</i>		CR-d		B	追加種、海岸岩場の標本があるが、現状不明である。
種子植物	追加	アマヅル	<i>Vitis saccharifera</i>		CR-d		A	追加種、標本が確認された。
種子植物	追加	ムカゴボトトギス	<i>Tricyrtis macropoda</i> var. <i>bulbifera</i>		CR-r		A	追加種、2017年、新種論文が発表され、県内にも生育している。
種子植物	追加	ニッコウコウガイゼキショウ	<i>Juncus nikkoensis</i>		CR-r		A	追加種、2020年、県内で初記録された。
種子植物	追加	クモイジガバチ	<i>Liparis truncata</i>		CR-r	CR	A	追加種、2017年、県内で初記録された。
種子植物	追加	ムカゴサイシンモドキ	<i>Nervilia futago</i>		CR-r		A	追加種、近年新種発表された。
種子植物	追加	アキノワスレグサ	<i>Hemerocallis fulva</i> var. <i>sempervirens</i>		CR-r		A	追加種、2020年、県内で初記録された。
種子植物	追加	イブキザサ	<i>Sasa tsuboiana</i>		CR-r		A	追加種、ササ調査で極少ないことが判明。
種子植物	追加	トクガワザサ	<i>Sasa tokugawana</i>		CR-r		A	追加種、ササ調査で極少ないことが判明。
種子植物	追加	ケマキヤマザサ	<i>Sasa maculata</i> var. <i>abei</i>		CR-r		B	追加種、ササ調査で極少ないことが判明。
種子植物	追加	ミネザサ	<i>Sasa minensis</i>		CR-r		A	追加種、ササ調査で極少ないことが判明。
種子植物	追加	チマキザサ	<i>Sasa palmata</i>		CR-r		A	追加種、ササ調査で極少ないことが判明。
種子植物	追加	センダイザサ	<i>Sasa chartacea</i>		CR-r		A	追加種、ササ調査で極少ないことが判明。
種子植物	追加	ウツクシザサ	<i>Sasa pulcherrima</i>		CR-r		A	追加種、ササ調査で極少ないことが判明。
種子植物	追加	イナコスズ	<i>Sasa tsukubensis</i> subsp. <i>Pubifolia</i>		CR-r		A	追加種、ササ調査で極少ないことが判明。
種子植物	追加	イッショウチザサ	<i>Sasa magnifica</i>		CR-r		A	追加種、ササ調査で少ないことが判明。
種子植物	追加	セトウチコスズ	<i>Sasa magnifica</i> subsp. <i>Fujitae</i>		CR-r		A	追加種、ササ調査で極少ないことが判明。
種子植物	追加	ケナシカシダザサ	<i>Sasa oshidensis</i> subsp. <i>Glabra</i>		CR-r		A	追加種、ササ調査で極少ないことが判明。
種子植物	追加	アリマコスズ	<i>Sasa kagamiana</i> subsp. <i>yoshinoi</i>		CR-r		A	追加種、ササ調査で極少ないことが判明。
種子植物	追加	オモエザサ	<i>Sasa pubiculmis</i>		CR-r		A	追加種、ササ調査で極少ないことが判明。
種子植物	追加	カガミナンブスズ	<i>Sasa kagamiana</i>		CR-r		A	追加種、ササ調査で極少ないことが判明。
種子植物	追加	クリオザサ	<i>Sasaella masamuneana</i>		CR-r		A	追加種、ササ調査で極少ないことが判明。
種子植物	追加	アズマザサ	<i>Sasaella ramosa</i>		CR-r		A	追加種、ササ調査で極少ないことが判明。
種子植物	追加	ヒシュウザサ	<i>Sasaella hidaensis</i>		CR-r		B	追加種、ササ調査で極少ないことが判明。
種子植物	追加	ミヤギザサ	<i>Sasaella hidaensis</i> var. <i>muraii</i>		CR-r		B	追加種、ササ調査で極少ないことが判明。
種子植物	追加	アリマシノ	<i>Sasaella kogasensis</i> var. <i>yoshinoi</i>		CR-r		B	追加種、ササ調査で極少ないことが判明。
種子植物	追加	アオナリヒラ	<i>Semiarundinaria fastuosa</i> var. <i>viridis</i>		CR-r		A	追加種、ササ調査で極少ないことが判明。
種子植物	追加	ヒロハノハネガヤ	<i>Achnatherum coreanum</i>		CR-r		B	追加種、県内に僅かに生育しているのが確認された。
種子植物	追加	エゾヤマカモジグサ	<i>Brachypodium sylvaticum</i> var. <i>sylvaticum</i>		CR-r		A	追加種、2020年、県内で初記録された。
種子植物	追加	オオネズミガヤ	<i>Muhlenbergia longistolon</i>		CR-r		A	追加種、減少している。
種子植物	追加	キダチネズミガヤ	<i>Muhlenbergia ramosa</i>		CR-r		B	追加種、減少している。
種子植物	追加	ホザキキケマン	<i>Corydalis racemosa</i>		CR-r		A	追加種、2018年、県内で初記録された。
種子植物	追加	シマキツネノボタン	<i>Ranunculus sieboldii</i>		CR-r		A	追加種、2018年、県内で初記録された。
種子植物	追加	ネコノメソウ	<i>Chrysosplenium grayanum</i>		CR-r		A	追加種、2019年、県内で初記録された。

宮崎県版レッドリスト（2020年度改訂版） カテゴリー等変更理由一覧

分類群	追加 変更	種名（種・亜種・変種）	学名	旧宮崎県 区分	新宮崎県 区分	環境省 区分	種の 重要度	変更理由
種子植物	追加	ヤブマオモドキ	<i>Boehmeria tikusiensis</i>		CR-r		B	追加種、ヤブマオ類の調査で希少性が確認された。
種子植物	追加	ウスバヤブマオ	<i>Boehmeria sp.</i>		CR-r		B	追加種、ヤブマオ類の調査で希少性が確認された。
種子植物	追加	ボダイジュの1種	<i>Tilia sp.</i>		CR-r		A	追加種、2020年、県内で初記録された。
種子植物	追加	ヒュウガコモウセンゴケ	<i>Drosera tokaiensis</i> subsp. <i>hyugaensis</i>		CR-r		B	追加種、雑種であるが、変種として論文発表。
種子植物	追加	ナガバノサワハコベ	<i>Stellaria diversiflora</i> f. <i>angustifolia</i>		CR-r		A	追加種、減少している。
種子植物	追加	ウスノキ	<i>Vaccinium hirtum</i> var. <i>pubescens</i>		CR-r		B	追加種、減少している。
種子植物	追加	ヒュウガハルリンドウ	<i>Gentiana sp.</i>		CR-r		A	追加種、新種論文作成中
種子植物	追加	ヒュウガホソバリンドウ	<i>Gentiana sp.</i>		CR-r		A	追加種、新種論文作成中
種子植物	追加	フトボナギナタコウジュ	<i>Elsholtzia nipponica</i>		CR-r		B	追加種、減少している。
種子植物	追加	ミヤマトウバナ	<i>Clinopodium micranthum</i> var. <i>sachalinense</i>		CR-d		A	追加種、2020年、県内で初記録された。
種子植物	追加	ウラジロヤナギアザミ	<i>Cirsium lineare</i>		CR-r		B	追加種、草原減少で減少している。
種子植物	追加	イヌガマズミ	<i>Viburnum erosum</i> var. <i>vegetum</i>		CR-r		A	追加種、2018年、県内で初記録された。
種子植物	追加	ヒゴコバイモ	<i>Fritillaria kiusiana</i>		EN-r		A	追加種、2018年、新種として論文が発表され、従来トサコバイモとしていた。
種子植物	追加	タマムラサキ	<i>Allium pseudojaponicum</i>		EN-r		B	追加種、減少している。
種子植物	追加	サナギスゲ	<i>Carex grallatoria</i> var. <i>heteroclita</i>		EN-r		B	追加種、生育も限定的であつり、シカ食害で激減している。
種子植物	追加	イトアオスゲ	<i>Carex leucochlora</i> var. <i>filiculmis</i>		EN-r		B	追加種、調査により県内の新産地が確認された。
種子植物	追加	クテガワザサ	<i>Sasa heterotricha</i>		EN-r		B	追加種、ササ調査で少ないことが判明。
種子植物	追加	オオシダザサ	<i>Sasa oshidensis</i>		EN-r		B	追加種、ササ調査で少ないことが判明。
種子植物	追加	カシダザサ	<i>Sasa shimidzuana</i> subsp. <i>Kashidensis</i>		EN-r		A	追加種、ササ調査で少ないことが判明。
種子植物	追加	ウシノシツパイ	<i>Hemarthria sibirica</i>		EN-r		B	追加種、減少している。
種子植物	追加	シマキケマン	<i>Corydalis balansae</i>		EN-r		A	追加種、2018年、県内で初記録された。
種子植物	追加	クマチャルメルソウ	<i>Mitella sp.</i>		EN-r		C	追加種、従来トサチャルメルソウとしていた。
種子植物	追加	ツクシヤブマオ	<i>Boehmeria kiusiana</i>		EN-r		A	追加種、ヤブマオ類の調査で希少性が確認された。
種子植物	追加	コカラスザンショウ	<i>Zanthoxylum fauriei</i>		EN-r		C	追加種、減少している。
種子植物	追加	ミヤコザサ	<i>Sasa nipponica</i>		EN-g		B	追加種、ササ調査で少ないことが判明。
種子植物	追加	ヌカボシソウ	<i>Luzula plumosa</i>		VU-r		B	追加種、2020年、県内で初記録された。
種子植物	追加	ヒメエンゴサク	<i>Corydalis lineariloba</i> var. <i>capillaris</i>		VU-r		A	追加種、減少している。
種子植物	追加	ツルジンジソウ	<i>Saxifraga cortusifolia</i> var. <i>stolonifera</i>		VU-r		A	追加種、減少している。
種子植物	追加	リュウキュウヌスビトハギ	<i>Hylodesmum laterale</i>		VU-r		A	追加種、減少している。
種子植物	追加	イタチササゲ	<i>Lathyrus davidii</i>		VU-r		A	追加種、草原減少で減少している。
種子植物	追加	クサコアカソ	<i>Boehmeria gracilis</i>		VU-r		B	追加種、ヤブマオ類の調査で希少性が確認された。
種子植物	追加	イヌヤブマオ	<i>Boehmeria sieboldiana</i>		VU-r		B	追加種、ヤブマオ類の調査で希少性が確認された。
種子植物	追加	ツルマオ	<i>Pouzolzia hirta</i>		VU-r		B	追加種、ヤブマオ類の調査で希少性が確認された。
種子植物	追加	ナツハゼ	<i>Vaccinium oldhamii</i>		VU-r		B	追加種、減少している。
種子植物	追加	キヌタソウ	<i>Galium kinuta</i>		VU-r		B	追加種、石灰岩地域に生育するが、シカ食害等で激減している。
種子植物	追加	ママコナ	<i>Melampyrum roseum</i> var. <i>japonicum</i>		VU-r		B	追加種、草原減少で減少している。
種子植物	追加	モミジハグマ	<i>Ainsliaea acerifolia</i> var. <i>acerifolia</i>		VU-r		B	追加種、谷沿いの岩場に生育していたが、生育環境が激減している。
種子植物	追加	ヒメアオガヤツリ	<i>Cyperus pygmaeus</i>		VU-g		B	追加種、減少している。
種子植物	追加	シラシママダケ	<i>Pleiolabastus nabeshimanus</i>		VU-g		B	追加種、ササ調査で少ないことが判明。
種子植物	追加	マツモ	<i>Ceratophyllum demersum</i>		VU-g		B	追加種、減少している。
種子植物	追加	ミソハギ	<i>Lythrum anceps</i>		VU-g		B	追加種、減少している。
種子植物	追加	ヒメコマツ	<i>Pinus parviflora</i> var. <i>parviflora</i>		NT-r		B	追加種、岩場に生育しているが、減少している。
種子植物	追加	タムシバ	<i>Magnolia salicifolia</i>		NT-r		C	追加種、ブナ帯に生育しているが、減少している。
種子植物	追加	ヤマコウバシ	<i>Lindera glauca</i>		NT-r		B	追加種、減少している。
種子植物	追加	ヒメウラシマソウ	<i>Arisaema kiushianum</i>		NT-r		A	追加種、減少している。
種子植物	追加	タシロテンナンショウ	<i>Arisaema tashiroi</i>		NT-r		A	追加種、種の保存法対象種、ブナ帯の谷間に生育するが、減少している。
種子植物	追加	コウライテンナンショウ	<i>Arisaema peninsulac</i>		NT-r		A	追加種、ブナ帯に生育しているが、減少している。
種子植物	追加	キクバドコロ	<i>Dioscorea septemloba</i>		NT-r		B	追加種、減少している。
種子植物	追加	ツユクサシユスラン	<i>Goodyera foliosa</i>		NT-r		B	追加種、暖帯の谷間に生育するが、減少している。
種子植物	追加	マツバサゲ	<i>Carex biwensis</i>		NT-r		B	追加種、生育環境悪化で減少。
種子植物	追加	コイヌノハナヒゲ	<i>Rhynchospora fujiana</i>		NT-r		B	追加種、減少している。
種子植物	追加	ヒゲアブラガヤ	<i>Scirpus asiaticus</i>		NT-r		B	追加種、減少している。
種子植物	追加	イヌトクガワザサ	<i>Sasa scytophylla</i>		VU-r		B	追加種、ササ調査で極少ないことが判明。
種子植物	追加	メンヤダケ	<i>Pseudosasa japonica</i> var. <i>pleioblastoides</i> , nom.nud.		NT-r		B	追加種、ササ調査で少ないことが判明。

宮崎県版レッドリスト（2020年度改訂版） カテゴリー等変更理由一覧

分類群	追加 変更	種名（種・亜種・変種）	学名	旧宮崎県 区分	新宮崎県 区分	環境省 区分	種の 重要度	変更理由
種子植物	追加	ヌマガヤ	<i>Moliniopsis japonica</i>		NT-r		B	追加種、ササ調査で少ないことが判明。
種子植物	追加	ヤマエンゴサク	<i>Corydalis lineariloba</i>		NT-r		A	追加種、減少している。
種子植物	追加	イチリンソウ	<i>Anemone nikoensis</i>		NT-r		B	追加種、水田法面、草原減少で減少している。
種子植物	追加	サバノオ	<i>Dichocarpum dicarpon</i>		VU-r		B	追加種、減少している。
種子植物	追加	シギンカラマツ	<i>Thalictrum actaeifolium</i>		NT-r		B	追加種、減少している。
種子植物	追加	キレハチダケサシ	<i>Astilbe microphylla</i> var. <i>riparia</i>		NT-r		B	追加種、減少している。
種子植物	追加	イワネコノメソウ	<i>Chrysosplenium echinus</i>		NT-r		B	追加種、減少している。
種子植物	追加	イワボタン	<i>Chrysosplenium macrostemon</i> var. <i>macrostemon</i>		NT-r		B	追加種、谷間に生育していたが、減少している。
種子植物	追加	タイトゴメ	<i>Sedum japonicum</i> subsp. <i>oryzifolium</i>		NT-r		B	追加種、海岸岩場に生育していたが、減少している。
種子植物	追加	マルバヌスビトハギ	<i>Hylodesmum podocarpum</i> subsp. <i>podocarpum</i>		NT-r		B	追加種、減少している。
種子植物	追加	ケヤブハギ	<i>Hylodesmum podocarpum</i> subsp. <i>fallax</i>		NT-r		B	追加種、減少している。
種子植物	追加	ケンボナシ	<i>Hovenia dulcis</i>		NT-r		C	追加種、減少している。
種子植物	追加	オヒョウ	<i>Ulmus laciniata</i>		NT-r		B	追加種、減少している。
種子植物	追加	コバノチョウセンエノキ	<i>Celtis biondii</i> var. <i>biondii</i>		NT-r		B	追加種、減少している。
種子植物	追加	コケミズ	<i>Pilea peploides</i>		NT-r		C	追加種、減少している。
種子植物	追加	ツルキンバイ	<i>Potentilla rosulifera</i>		NT-r		B	追加種、減少している。
種子植物	追加	ビロードイチゴ	<i>Rubus corchorifolius</i>		NT-r		B	追加種、減少している。
種子植物	追加	ウラジロノキ	<i>Aria japonica</i>		NT-r		B	追加種、ブナ帯に生育しているが、減少している。
種子植物	追加	ミヤマザクラ	<i>Cerasus maximowiczii</i>		NT-r		B	追加種、ブナ帯に生育しているが、減少している。
種子植物	追加	イブキシモツケ	<i>Spiraea nervosa</i>		NT-r		B	追加種、石灰岩地域に生育するが、シカ食害等で激減している。
種子植物	追加	シモツケ	<i>Spiraea japonica</i> var. <i>Japonica</i>		NT-r		B	追加種、減少している。
種子植物	追加	カシワ	<i>Quercus dentata</i>		NT-r		B	追加種、草原減少で減少している。
種子植物	追加	ナラガシワ	<i>Quercus aliena</i>		NT-r		B	追加種、減少している。
種子植物	追加	アオナラガシワ	<i>Quercus aliena</i> f. <i>pellucida</i>		NT-r		B	追加種、減少している。
種子植物	追加	サワシバ	<i>Carpinus cordata</i> var. <i>cordata</i>		NT-r		B	追加種、ブナ帯に生育しているが、減少している。
種子植物	追加	ツノハシバミ	<i>Corylus sieboldiana</i> var. <i>sieboldiana</i>		NT-r		B	追加種、ブナ帯に生育しているが、減少している。
種子植物	追加	シコクスミレ	<i>Viola shikokiana</i>		NT-r		B	追加種、ブナ帯に生育しているが、減少している。
種子植物	追加	ミズオトギリ	<i>Triadenum japonicum</i>		NT-r		B	追加種、湿地に生育するが、生育環境が激減している。
種子植物	追加	ヒナウチワカエデ	<i>Acer tenuifolium</i>		NT-r		B	追加種、ブナ帯に生育しているが、減少している。
種子植物	追加	カジカエデ	<i>Acer diabolicum</i>		NT-r		B	追加種、ブナ帯に生育しているが、減少している。
種子植物	追加	ミツデカエデ	<i>Acer cissifolium</i>		NT-r		A	追加種、ブナ帯に生育しているが、減少している。
種子植物	追加	フユザンショウ	<i>Zanthoxylum armatum</i> var. <i>subtrifoliatum</i>		NT-r		B	追加種、減少している。
種子植物	追加	スズシロソウ	<i>Arabis flagellosa</i> var. <i>flagellosa</i>		NT-r		C	追加種、減少している。
種子植物	追加	ホソバジャニンジン	<i>Cardamine impatiens</i> var. <i>longipes</i>		NT-r		B	追加種、減少している。
種子植物	追加	コンロンソウ	<i>Cardamine leucantha</i>		NT-r		B	追加種、減少している。
種子植物	追加	ユリワサビ	<i>Eutrema tenue</i>		NT-r		B	追加種、ブナ帯に生育しているが、減少している。
種子植物	追加	ハルトラノオ	<i>Bistorta tenuicaulis</i> var. <i>tenuicaulis</i>		NT-r		B	追加種、ブナ帯に生育しているが、減少している。
種子植物	追加	ネバリタデ	<i>Persicaria viscofera</i> var. <i>viscofera</i>		NT-r		B	追加種、減少している。
種子植物	追加	ナンバンハコベ	<i>Silene baccifera</i> var. <i>japonica</i>		NT-r		B	追加種、減少している。
種子植物	追加	オオヤマハコベ	<i>Stellaria monosperma</i> var. <i>japonica</i>		NT-r		B	追加種、ブナ帯に生育しているが、減少している。
種子植物	追加	ギンバイソウ	<i>Deinante bifida</i>		NT-r		B	追加種、石灰岩地域に生育するが、シカ食害等で激減している。
種子植物	追加	キツリフネ	<i>Impatiens noli-tangere</i>		NT-r		B	追加種、ブナ帯に生育しているが、減少している。
種子植物	追加	モロコシソウ	<i>Lysimachia sikokiana</i>		NT-r		B	追加種、減少している。
種子植物	追加	イワトミツバツツジ	<i>Rhododendron dilatatum</i> subsp. <i>satsumense</i> var. <i>nippoense</i>		NT-r		A	追加種、2018年、ミツバツツジ類の研究で新種として発表。
種子植物	追加	シシガワミツバツツジ	<i>Rhododendron dilatatum</i> subsp. <i>satsumense</i> var. <i>ookuemonianum</i>		NT-r		A	追加種、2018年、ミツバツツジ類の研究で新種として発表。
種子植物	追加	キュウシュウミツバツツジ	<i>Rhododendron nudipes</i> var. <i>nudipes</i>		NT-r		A	追加種、2018年、ミツバツツジ類の研究で新種として発表。
種子植物	追加	バイカツツジ	<i>Rhododendron semibarbatum</i>		NT-r		B	追加種、減少している。
種子植物	追加	ミヤマムグラ	<i>Galium paradoxum</i> subsp. <i>Franchetianum</i>		NT-r		B	追加種、減少している。
種子植物	追加	ツルアリドオシ	<i>Mitchella undulata</i>		NT-r		B	追加種、減少している。
種子植物	追加	マルバハダカホオズキ	<i>Tubocapsicum anomalum</i> var. <i>obtusum</i>		NT-r		B	追加種、減少している。
種子植物	追加	シオジ	<i>Fraxinus platypoda</i>		NT-r		B	追加種、ブナ帯の谷沿いに生育していたが、生育環境が激減している。
種子植物	追加	タカクマヒキオコシ	<i>Isodon shikokianus</i> var. <i>intermedius</i>		NT-r		B	追加種、谷沿いの路傍に生育していたが、生育環境が激減している。
種子植物	追加	ミヤマヨメナ	<i>Aster savatieri</i> var. <i>savatieri</i>		NT-r		B	追加種、減少している。
種子植物	追加	カワラヨモギ	<i>Artemisia capillaris</i>		NT-r		B	追加種、河川敷に生育しているが、減少している。

宮崎県版レッドリスト（2020年度改訂版） カテゴリー等変更理由一覧

分類群	追加 変更	種名（種・亜種・変種）	学名	旧宮崎県 区分	新宮崎県 区分	環境省 区分	種の 重要度	変更理由
種子植物	追加	フタバアオイ	<i>Asarum caulescens</i>		NT-g		B	追加種、ブナ帯に生育しているが、減少している。
種子植物	追加	シロモジ	<i>Lindera triloba</i>		NT-g		C	追加種、ブナ帯に普通に生育していたが、シカ食害等で激減している。
種子植物	追加	ヒメテンナンショウ	<i>Arisaema sazense</i>		NT-g		A	追加種、減少している。
種子植物	追加	ヘラオモダカ	<i>Alisma canaliculatum</i>		NT-g		C	追加種、湿地に生育するが、生育環境が激減している。
種子植物	追加	ホソバミズヒキモ	<i>Potamogeton octandrus</i> var. <i>octandrus</i>		NT-g		B	追加種、ため池等に生育するが、生育環境が激減している。
種子植物	追加	エビモ	<i>Potamogeton crispus</i>		NT-g		B	追加種、ため池等に生育するが、生育環境が激減している。
種子植物	追加	サイハイラン	<i>Cremastra appendiculata</i> var. <i>variabilis</i>		NT-g		B	追加種、減少している。
種子植物	追加	ウスキムヨウラン	<i>Lecanorchis kiusiana</i>		NT-g	NT	B	追加種、腐生ランで林床に生育するが、減少している。
種子植物	追加	コケイラン	<i>Oreorchis patens</i>		NT-g		B	追加種、減少している。
種子植物	追加	クモラン	<i>Taeniophyllum glandulosum</i>		NT-g		A	追加種、樹幹に着生しているが、減少している。
種子植物	追加	キンバイザサ	<i>Curculigo orchioides</i>		NT-g		B	追加種、草地に生育していたが、生育環境が激減している。
種子植物	追加	ノカンゾウ	<i>Hemerocallis fulva</i> var. <i>disticha</i>		NT-g		B	追加種、草地に生育していたが、シカ食害等により激減している。
種子植物	追加	キツネノカミソリ	<i>Lycoris sanguinea</i>		NT-g		C	追加種、減少している。
種子植物	追加	オオバギボウシ	<i>Hosta sieboldiana</i>		NT-g		B	追加種、草地に生育していたが、シカ食害等により激減している。
種子植物	追加	コバギボウシ	<i>Hosta sieboldii</i> var. <i>sieboldii</i> f. <i>spathulata</i>		NT-g		B	追加種、減少している。
種子植物	追加	ヒュウガナルコユリ	<i>Polygonatum falcatum</i> var. <i>hyugaense</i>		NT-g		A	追加種、減少している。
種子植物	追加	ホシクサ	<i>Eriocaulon cinereum</i>		NT-g		A	追加種、湿地に生育するが、生育環境が激減している。
種子植物	追加	ヒロハノイヌノヒゲ	<i>Eriocaulon alpestre</i>		NT-g		B	追加種、湿地に生育するが、生育環境が激減している。
種子植物	追加	アオコウガイゼキショウ	<i>Juncus papillosus</i>		NT-g		B	追加種、湿地に生育するが、生育環境が激減している。
種子植物	追加	ヒメシラスゲ	<i>Carex mollicula</i>		NT-g		B	追加種、シカ食害で減少している。
種子植物	追加	クログワイ	<i>Eleocharis kuroguwai</i>		NT-g		C	追加種、水田雑草であるが、除草剤の影響等で減少している。
種子植物	追加	マシカクイ	<i>Eleocharis tetraquetra</i>		NT-g		B	追加種、湿地に生育するが、生育環境が激減している。
種子植物	追加	アオテンツキ	<i>Fimbristylis dipsacea</i>		NT-g		B	追加種、湿地に生育するが、生育環境が激減している。
種子植物	追加	ビロードテンツキ	<i>Fimbristylis sericea</i>		NT-g		B	追加種、砂浜に生育していたが、海岸後退により減少している。
種子植物	追加	ヒメヒラテンツキ	<i>Fimbristylis autumnalis</i>		NT-g		C	追加種、湿地に生育するが、生育環境が激減している。
種子植物	追加	メアゼテンツキ	<i>Fimbristylis velata</i>		NT-g		B	追加種、湿地に生育するが、生育環境が激減している。
種子植物	追加	アンペライ	<i>Machaerina rubiginosa</i>		NT-g		C	追加種、湿地に生育するが、生育環境が激減している。
種子植物	追加	イガクサ	<i>Rhynchospora rubra</i>		NT-g		C	追加種、草原減少で減少している。
種子植物	追加	ミアケザサ	<i>Sasa miakeana</i>		NT-g		B	追加種、ササ調査で少ないことが判明。
種子植物	追加	ヒロウザサ	<i>Pleioblastus nagashima</i>		NT-g		C	追加種、ササ調査で少ないことが判明。
種子植物	追加	イトスズメガヤ	<i>Eragrostis brownii</i>		NT-g		B	追加種、減少している。
種子植物	追加	モロコシガヤ	<i>Sorghum nitidum</i> var. <i>dichroanthum</i>		NT-g		B	追加種、減少している。
種子植物	追加	ナガミノツルキクマン	<i>Corydalis raddeana</i>		NT-g	NT	C	追加種、路傍草地に生育するが、近年減少している。
種子植物	追加	バイカイカリソウ	<i>Epimedium diphyllum</i>		NT-g		B	追加種、路傍草地に生育するが、近年減少している。
種子植物	追加	タンナトリカブト	<i>Aconitum japonicum</i> subsp. <i>Napiforme</i>		NT-g		B	追加種、草地に生育していたが、シカ食害等により激減している。
種子植物	追加	ニリンソウ	<i>Anemone flaccida</i> var. <i>flaccida</i>		NT-g		B	追加種、ブナ帯に普通に生育していたが、シカ食害等により激減している。
種子植物	追加	サラシナショウマ	<i>Cimicifuga simplex</i>		NT-g		C	追加種、路傍草地に生育するが、近年減少している。
種子植物	追加	ケナガバヤブマオ	<i>Boehmeria hispida</i>		NT-g		C	追加種、ヤブマオ類の調査で希少性が確認された。
種子植物	追加	ニオウヤブマオ	<i>Boehmeria holosericea</i>		NT-g		C	追加種、海岸に生育するが、近年減少している。
種子植物	追加	ウメバチソウ	<i>Parnassia palustris</i> var. <i>palustris</i>		NT-g		B	追加種、路傍草地に生育するが、近年減少している。
種子植物	追加	ミゾハコバ	<i>Elatine triandra</i>		NT-g		B	追加種、水田、湿地に生育するが、生育環境が激減している。
種子植物	追加	エゾミソハギ	<i>Lythrum salicaria</i>		NT-g		B	追加種、湿地に生育するが、生育環境が激減している。
種子植物	追加	ミズマツバ	<i>Rotala mexicana</i>		NT-g	VU	B	追加種、水田、湿地に生育するが、生育環境が激減している。
種子植物	追加	ミズユキノシタ	<i>Ludwigia ovalis</i>		NT-g		B	追加種、湿地に生育するが、生育環境が激減している。
種子植物	追加	ホソバナノウナギツカミ	<i>Persicaria praetermissa</i>		NT-g		B	追加種、湿地に生育するが、生育環境が激減している。
種子植物	追加	サクラタデ	<i>Persicaria odorata</i> subsp. <i>conspicua</i>		NT-g		A	追加種、湿地に生育するが、生育環境が激減している。
種子植物	追加	ワチガイソウ	<i>Pseudostellaria heterantha</i>		NT-g		B	追加種、ブナ帯に普通に生育していたが、シカ食害により激減している。
種子植物	追加	ナンゴクヤマアジサイ	<i>Hydrangea acuminata</i> subsp. <i>Australis</i>		NT-g		B	追加種、近年減少している。
種子植物	追加	リンドウ	<i>Gentiana scabra</i> var. <i>buergeri</i>		NT-g		A	追加種、路傍草地に生育するが、近年減少している。
種子植物	追加	シソクサ	<i>Limnophila aromatica</i>		NT-g		B	追加種、湿地に生育するが、生育環境が激減している。
種子植物	追加	メハジキ	<i>Leonurus japonicus</i>		NT-g		B	追加種、路傍草地に生育するが、近年減少している。
種子植物	追加	タウコギ	<i>Bidens tripartita</i>		NT-g		C	追加種、水田雑草であるが、除草剤の影響等で減少している。
種子植物	追加	ヒメノダケ	<i>Angelica cartilaginomarginata</i> var. <i>cartilaginomarginata</i>		NT-g		A	追加種、草原減少で減少している。
種子植物	追加	フカノキ	<i>Schefflera heptaphylla</i>		OT-1		A	追加種、宮崎の日南海岸の代表種である。

宮崎県版レッドリスト（2020年度改訂版） カテゴリー等変更理由一覧

分類群	追加 変更	種名（種・亜種・変種）	学名	旧宮崎県 区分	新宮崎県 区分	環境省 区分	種の 重要度	変更理由
シダ植物	変更	ミイケイワヘゴ	<i>Dryopteris</i> × <i>miyazakiensis</i>	EX-r	EW-r		A	県カテゴリー、新たな産地が確認されたが、移植された。
シダ植物	変更	シビカナワラビ	<i>Arachniodes hekiana</i>	CR-r	CR-d	VU	A	県カテゴリー、近年確認されていない。
シダ植物	変更	コバヤシカナワラビ	<i>Arachniodes yasu-inouei</i> var. <i>angustipinnula</i>	CR-r	CR-d	EW	A	県カテゴリー、近年確認されていない。
シダ植物	変更	ナンカクラン	<i>Lycopodium hamiltonii</i>	EN-r	CR-r		C	県カテゴリー、生育に適した環境が悪化し、生育地、個体数とも減少している。学名の変更。
シダ植物	変更	ホソバヤブソテツ	<i>Polystichum hookerianum</i>	CR-d	CR-d		B	学名、日本産シダ植物標準図鑑で、属名が変更された。
シダ植物	変更	コケシノブ	<i>Hymenophyllum wrightii</i>	CR-d	CR-r		B	県カテゴリー、新たな産地が確認された。
シダ植物	変更	リュウキュウコケシノブ	<i>Hymenophyllum riukuense</i>	EN-r	CR-r		B	県カテゴリー、減少している。
シダ植物	変更	チチブホラゴケ	<i>Crepidomanes schmidtianum</i> var. <i>schmidtianum</i>	CR-d	CR-r		B	県カテゴリー、新たな産地が確認された。
シダ植物	変更	ホングウシダ	<i>Osmolindsaea odorata</i>	CR-r	CR-r		C	学名、日本産シダ植物標準図鑑で属名が変更された。
シダ植物	変更	ユノミネシダ	<i>Histiopteris incisa</i>	EX-r	CR-r		C	県カテゴリー、新たな産地が確認された。
シダ植物	変更	エビガラシダ	<i>Cheilanthes chusana</i>	EN-r	CR-r	VU	B	県カテゴリー、減少している。
シダ植物	変更	テバコワラビ	<i>Athyrium atkinsonii</i>	EX-r	CR-r	VU	B	学名、日本産シダ植物標準図鑑で変更。県カテゴリー、かつての産地周辺で確認された。
シダ植物	変更	シラネワラビ	<i>Dryopteris expansa</i>	EN-r	CR-r		B	県カテゴリー、減少している。
シダ植物	変更	キリシマイワヘゴ	<i>Dryopteris hangchowensis</i>	EX-r	CR-r	CR	A	県カテゴリー、かつての産地周辺で確認された。
シダ植物	変更	アツギノヌカイタチシダマガイ	<i>Dryopteris simasakii</i> var. <i>paleacea</i>	CR-d	CR-r		B	県カテゴリー、新たな産地が確認された。
シダ植物	変更	タカチホイワヘゴ	<i>Dryopteris</i> × <i>tachihouensis</i>	EX-r	CR-r		A	県カテゴリー、新たな産地が確認された。
シダ植物	変更	サツマシダ	<i>Ctenitis sinii</i>	CR-r	CR-r	EN	A	学名、日本産シダ植物標準図鑑で属名が変更された。
シダ植物	変更	チャボイノデ	<i>Polystichum igaense</i>	CR-d	CR-r		A	県カテゴリー、かつての産地周辺で確認された。
シダ植物	変更	ヒロハヒメウラボシ	<i>Oreogrammitis nipponica</i>	EX-r	CR-r	CR	A	県カテゴリー、かつての産地周辺で確認された。
シダ植物	変更	スギラン	<i>Phlegmariurus cryptomerinus</i>	EN-r	EN-r	VU	B	学名の変更。
シダ植物	変更	クラマゴケ	<i>Selaginella remotifolia</i>	CR-r	EN-r		B	県カテゴリー、シカ忌避種で増加している。
シダ植物	変更	オウレンシダ	<i>Dennstaedtia wilfordii</i>	VU-r	EN-r		B	県カテゴリー、減少している。
シダ植物	変更	ヒメウラジロ	<i>Cheilanthes argentea</i>	VU-r	EN-r	VU	C	県カテゴリー、減少している。
シダ植物	変更	タニヘゴ	<i>Dryopteris tokyoensis</i>	CR-r	EN-r		B	県カテゴリー、新たな産地が確認された。
シダ植物	変更	ヒモラン	<i>Lycopodium sieboldii</i>	VU-g	EN-g	EN	B	県カテゴリー、減少している。学名の変更。
シダ植物	変更	ナツノハナワラビ	<i>Botrychium virginianum</i>	CR-g	EN-g		C	県カテゴリー、新たな産地が確認された。
シダ植物	変更	ヤシヤゼンマイ	<i>Osmunda lancea</i>	NT-r	VU-r		A	県カテゴリー、減少している。
シダ植物	変更	ヤマドリゼンマイ	<i>Osmundastrum cinnamomeum</i> var. <i>fokiense</i>	NT-r	VU-r		C	県カテゴリー、減少している。
シダ植物	変更	フジシダ	<i>Monachosorum maximowiczii</i>	EN-r	VU-r		B	県カテゴリー、シカ忌避種で増加している。新たな産地も確認された。
シダ植物	変更	オオフジシダ	<i>Monachosorum flagellare</i>	EN-r	VU-r		B	県カテゴリー、シカ忌避種で増加している。新たな産地も確認された。
シダ植物	変更	ヒロハノコギリシダ	<i>Diplazium dilatatum</i> var. <i>dilatatum</i>	EN-r	VU-r		B	県カテゴリー、温暖化で北上した。新産地が確認された。
シダ植物	変更	ツクシオオクジャク	<i>Dryopteris handeliana</i>	NT-r	VU-r		B	県カテゴリー、減少している。
シダ植物	変更	ホオノカワシダ	<i>Dryopteris shikokiana</i>	VU-r	VU-r		B	学名、日本産シダ植物標準図鑑で属名が変更された。
シダ植物	変更	オオクボシダ	<i>Micropolypodium okuboii</i>	NT-r	VU-r		C	県カテゴリー、減少している。
シダ植物	変更	ヒメスギラン	<i>Huperzia miyoshiana</i>	NT-r	NT-r		C	学名の変更。
シダ植物	変更	ハマホラシノブ	<i>Odontosoria biflora</i>	NT-r	NT-r		C	学名、日本産シダ植物標準図鑑で属名が変更された。
シダ植物	追加	ヤマドリトラノオ	<i>Asplenium castaneoviride</i>		EX-r	CR	A	追加種、雑種とされてきたが、種と判明。ここ50年以上確認されていない。生育環境も激減している。
シダ植物	追加	ナガオノキシノブ	<i>Lepisorus angustus</i>		CR-d		B	追加種、日本産シダ植物標準図鑑で科博に標本が確認された。
シダ植物	追加	サクラジマハナヤスリ	<i>Ophioglossum kawamurae</i>		CR-r	EN	A	追加種、2018年、県内で初記録された。
シダ植物	追加	アカフユノハナワラビ	<i>Botrychium ternatum</i> var. <i>pseudoternatum</i>		CR-r		A	追加種、2020年、県内で初記録された。
シダ植物	追加	ヒメハイホラゴケ	<i>Vandenboschia nipponica</i>		CR-r		B	追加種、日本産シダ植物標準図鑑で科博に標本が確認され、産地も確認された。
シダ植物	追加	ウチワホングウシダ	<i>Lindsaea simulans</i>		CR-r	EN	A	追加種、2017年、県内で初記録された。
シダ植物	追加	イヌイワデンダ	<i>Woodsia intermedia</i>		CR-r	NT	A	追加種、2018年、県内で初記録された。
シダ植物	追加	ハチジョウウベニシダ	<i>Dryopteris caudipinna</i>		CR-r		B	追加種、日本産シダ植物標準図鑑で分布が稀と判明した。
シダ植物	追加	アイヌカイタチシダ	<i>Dryopteris oohorae</i> ,nom.nud.		CR-r		B	追加種、2018年、県内で初確認された。
シダ植物	追加	ヒメイワヤナギシダ	<i>Loxogramme salicifolia</i> x <i>L. grammitoides</i>		CR-r		A	追加種、2018年、県内で初確認された。
シダ植物	追加	オオバミヤマノコギリシダ	<i>Diplazium hayatamae</i>		VU-r		C	追加種、日本産シダ植物標準図鑑で分布が稀と判明した。
シダ植物	追加	ナンカイヌリトラノオ	<i>Asplenium serratifolium</i>		EN-r		B	追加種、2020年、新種として論文が発表された。
シダ植物	追加	イワハリガネワラビ	<i>Thelypteris musashiensis</i>		NT-r		B	追加種、暖温帯の水場に稀に生育していたが、減少している。
シダ植物	追加	カタイノデ	<i>Polystichum makinoi</i>		NT-r		C	追加種、暖温帯に稀に産したが、シカ食害等で減少している。
シダ植物	追加	ミヤマクマワラビ	<i>Dryopteris polylepis</i>		NT-g		C	追加種、ブナ帯に普通に生育していたが、シカ食害により激減している。

宮崎県版レッドリスト（2020年度改訂版） カテゴリー等変更理由一覧

分類群	追加 変更	種名（種・亜種・変種）	学名	旧宮崎県 区分	新宮崎県 区分	環境省 区分	種の 重要度	変更理由
蘚苔類	変更	ニセタマウケゴケ(シバゴケ)	<i>Garckea flexuosa</i> (Griff.) Margad. & Nork.		CR-r	CR+EN	B	和名。環境省RDBに従い(シバゴケ)を追加。
蘚苔類	変更	キサゴゴケ	<i>Hypnodontopsis apiculata</i> Z.Iwats. & Nog.		VU-r	CR+EN	A	県カテゴリー。環境省ではCR+ENであるが、県内で6カ所以上で生育を確認されたため。
蘚苔類	変更	ユリゴケ(タイワンユリゴケ)	<i>Tayloria indica</i> Mitt.		DD-1	CR+EN	A	県カテゴリー。環境省ではCR+ENであるが、1959年発見以来記録が無いためDD-1とした。和名を環境省RDBに従い変更。
蘚苔類	変更	マツモトホソエゴケ	<i>Trichosteleum stigmosum</i> Mitt.		DD-2	-	B	和名。(鈴木 2016)に従って和名を追加。
蘚苔類	変更	オオサワラゴケ	<i>Mastigophora dicrados</i> (Brid.) Nees		DD-1	VU	A	県カテゴリー。県内では50年以上、確実な記録がないため環境省ではVUであるが、宮崎県ではDD-1とした。
蘚苔類	変更	ホソバイトクズゴケ	<i>Cololejeunea sintenisii</i> (Steph.) Pócs		CR-r	CR+EN	A	学名を(片桐・古木2018)に従って変更。(= <i>Cololejeunea angustiloba</i>)
蘚苔類	変更	ミヤマミズゼニゴケ	<i>Calycularia laxa</i> Lindb. & Arnell		VU-r	VU	B	学名を(片桐・古木2018)に従って変更。(= <i>Calycularia crispa</i>)
蘚苔類	変更	カビゴケ	<i>Leptolejeunea elliptica</i> (Lehm. & Lindenb.) Schiffn.		OT-1	NT	C	県カテゴリー。環境省ではNTであるが、県内では希少でなく、生育状況は安定している。
蘚苔類	追加	クロコゴケ	<i>Luisierella barbula</i> (Schwägr.) Steere		VU-r	VU	B	追加種。環境省のRDB種。県北の石灰岩地から報告された。
蘚苔類	追加	カシミールクマノゴケ	<i>Diphyscium kashmirensis</i> (H.Rob.) Magombo		VU-r	VU	B	追加種。環境省のRDB種。県南、県北に生育していることがわかった。
蘚苔類	追加	ハナシキヌシッポゴケ	<i>Seligeria donniana</i> (Sm.) Müll.Hal.		VU-r	VU	B	追加種。環境省のRDB種。県北の石灰岩地に分布していることがわかった。
蘚苔類	追加	ヤマトハクチョウゴケ	<i>Campylostelium brachycarpum</i> (Nog.) Z.Iwats., Yuk.Tateishi & Tad.Suzuki		VU-r	VU	B	追加種。環境省のRDB種。文献、標本調査により県内に分布していることがわかった。
蘚苔類	追加	カサゴケモドキ	<i>Rhodobryum ontariense</i> (Kindb.) Kindb.		VU-r	VU	B	追加種。環境省のRDB種。県北の熊本県境で生育を確認した。
蘚苔類	追加	モミノキゴケ	<i>Pinnatella anacamptolepis</i> (Müll.Hal.) Broth.		VU-r	VU	B	追加種。環境省のRDB種。文献、現地調査により県内に分布していることがわかった。
蘚苔類	追加	ヒロハヤスジゴケ	<i>Rhabdoweisia crenulata</i> (Mitt.) H. Jameson		DD-2		B	追加種。2018年、宮崎県が日本で2カ所目の産地として報告された。
蘚苔類	追加	ゴマダラヤスデゴケ	<i>Frullania pseudoalstonii</i> Tsudo & J.Haseg.		CR-r		A	追加種。15年前に宮崎県から新種として記載され、それ以後、屋久島からの報告があるだけである。
蘚苔類	追加	ノグチサキジロゴケ	<i>Gymnomitrium noguchianum</i> S.Hatt.		VU-r	VU	C	追加種。50年以上前の宮崎県からの唯一の記録が、それ以後初めて現地調査で確認された。
蘚苔類	追加	カネマルムチゴケ	<i>Bazzania ovistipula</i> (Steph.) Abeyw.		DD-1	VU	C	追加種。環境省のRDB掲載種で、宮崎県も分布域にあげられているが、県内の産地情報が不明。
蘚苔類	追加	サケバキハネゴケ	<i>Plagiochila fordiana</i> Steph.		DD-1	VU	C	追加種。環境省のRDB掲載種で、宮崎県も分布域にあげられているが、県内の産地情報が不明。
蘚苔類	追加	ハットリムカイバハネゴケ	<i>Chistiocaulon theriotanum</i> (Steph.) S.D.F.Patzak, et al.		DD-1	CR+EN	C	追加種。環境省のRDB掲載種で、宮崎県も分布域にあげられているが、県内の産地情報が不明。

宮崎県版レッドリスト（2020年度改訂版） カテゴリー等変更理由一覧

分類群	追加 変更	種名（種・亜種・変種）	学名	旧宮崎県 区分	新宮崎県 区分	環境省 区分	種の 重要度	変更理由
藻類	変更	ホソバフラスコモ	<i>Nitella graciliformis</i>	CR+EN	CR-r	CR+EN	C	環境区分の変更。
藻類	変更	セイロンフラスコモ	<i>Nitella megaspora</i>	CR+EN	CR-r	CR+EN	C	環境区分の変更。
藻類	変更	ミゾフラスコモ	<i>Nitella oligospira</i>	CR+EN	CR-r	CR+EN	C	環境区分の変更。
藻類	変更	ミルフラスコモ	<i>Nitella axilliformis</i>	CR+EN	DD-1	CR+EN	C	環境区分の変更。
藻類	追加	ケナガシヤジクモ	<i>Chara fibrosa</i> subsp. <i>benthamii</i> (A.Braun) Zaneveld		CR-g	CR+EN	B	県内の湿田脇溝で確認された。
藻類	追加	カラスフラスコモ	<i>Nitella opaca</i> (Bruzelius) C.Agardh		DD-1	CR+EN	A	文献より確認。
藻類	追加	オキチモズク	<i>Nemalionopsis tortuosa</i>		CR-r	CR+EN	A	アオカワモズクとともに確認された。
藻類	追加	ツマグロカワモズク	<i>Batrachospermum skujac</i>		CR-r	CR+EN	A	県内で初確認した。
藻類	追加	チャイロカワモズク	<i>Sheathia arcuata</i>		NT-r	NT	A	2か所で確認された
藻類	追加	アヤギヌ	<i>Caloglossa continua</i>		NT-r	NT	A	アヤギヌとともに確認された。
藻類	追加	ホソアヤギヌ	<i>Caloglossa ogasawaraensis</i>		NT-r	NT	A	文献より確認。
藻類	追加	タニコケモドキ	<i>Bostrychia simpliciuscula</i>		NT-r	NT	A	文献より確認。

宮崎県版レッドリスト（2020年度改訂版） カテゴリー等変更理由一覧

分類群	追加 変更	種名（種・亜種・変種）	学名	旧宮崎県 区分	新宮崎県 区分	環境省 区分	種の 重要度	変更理由
地衣類	変更	ヒュウガザクロゴケ	<i>Haematomma accolens</i>	CR-r	CR-r		A	国内で本県の1箇所（綾町）が唯一の産地である。
地衣類	変更	オウカンチャシブゴケ	<i>Lecanora sulcata</i>	CR-r	CR-r		C	九州地方で本県（霧島山）と熊本県の2箇所が産地であり、本県が国内南限でもある。
地衣類	変更	アヤノニセザクロゴケ	<i>Ramboldia russula</i>	CR-r	CR-r		A	国内で本県の1箇所（綾町）が唯一の産地である。
地衣類	変更	オオヒメハナヒラゴケ	<i>Fuscopannaria protensa</i>	VU-r	VU-r		B	九州地方で本県（猪八重溪谷）と鹿児島県の2箇所が産地である。
地衣類	追加	ホウネンゴケ	<i>Acarospora fuscata</i> (Schrad.) Th.Fr.		CR-r		A	西日本で本県（白岩山）が唯一の産地であり、本県が国内南限でもある。
地衣類	追加	イシバイアナイボゴケ	<i>Bagliettoa calciseda</i> (DC.) Gueidan et al.		CR-r		A	石灰岩地に特有の種で、西日本で本県が唯一の産地であり、本県が国内南限でもある。
地衣類	追加	ワタゴケ	<i>Crocynia gossypina</i> A.Massal.		CR-r		A	九州地方で本県（猪八重溪谷）と沖縄県の2箇所の産地が知られている。
地衣類	追加	アシカゴケ	<i>Graphidastra japonica</i> A.Sakata & H.Harada		CR-r		A	海岸に特有の種で、国内で4箇所の産地が知られ、九州地方で本県（鶴戸神宮）と鹿児島県が産地である。
地衣類	追加	ブンゴザクロゴケ	<i>Haematomma africanum</i> (Steiner) Dodge		CR-r		A	国内で本県（綾町）と大分県の2箇所の産地のみが知られ、本県が国内南限でもある。
地衣類	追加	オシオモジゴケモドキ	<i>Hemithecium aphanes</i> (Mont.) M.Nakan. & Kashiw.		CR-r		A	国内で4箇所の産地が知られ、九州本島で本県（鰐塚山）が唯一の産地であり、本県が国内北限でもある。
地衣類	追加	アオチャゴケ	<i>Maronea constans</i> (Nyl.) Hepp		CR-r	DD	A	九州地方で本県（串間市）と佐賀県の2箇所が産地であり、本県が国内南限でもある。
地衣類	追加	ハマウロコゴケ	<i>Normandina simodensis</i> (Asah.) Aptroot		CR-r		A	海岸に特有の種で、九州地方で本県（延岡市）が唯一の産地であり、本県が国内南限でもある。
地衣類	追加	レンコントリハダゴケ	<i>Pertusaria ferruginea</i> (Müll.Arg.) Oshio		CR-r		A	九州地方で本県（鰐塚山）が唯一の産地であり、本県が国内南限でもある。
地衣類	追加	フチヒロモジゴケ	<i>Platygramme platyloma</i> (Muell.Arg.) M.Nakan. & Kashiw.		CR-r	VU	A	国内で本県（宮崎市）と鹿児島県の2箇所が産地であり、本県が国内北限でもある。
地衣類	追加	キクバチャシブゴケ	<i>Protoparmeliopsis muralis</i> (Schreb.) M.Choisy		CR-r		C	九州地方で本県（日南市）が唯一の産地であり、本県が国内南限でもある。
地衣類	追加	トゲナシフトネゴケモドキ	<i>Relicina segregata</i> Elix		CR-r	CR+EN	A	国内で本県の1箇所（猪八重溪谷）が唯一の産地である。
地衣類	追加	キフトネゴケモドキ	<i>Relicina sydneyensis</i> (Gyeln.) Hale		CR-r	DD	A	九州地方で本県（延岡市）が唯一の産地であり、本県が国内南限でもある。
地衣類	追加	フタゴチズゴケ	<i>Rhizocarpon eupetracoides</i> (Nyl.) Blomb. & Forssell		CR-r		A	西日本で本県の1箇所（本谷山）が唯一の産地であり、国内南限でもある。
地衣類	追加	イノハエホシダイゴケ	<i>Sarcographa labyrinthica</i> (Ach.) Müll.Arg.		CR-r		A	本県（猪八重溪谷・田野）の2箇所が九州本島の唯一の産地である。本県が国内北限でもある。
地衣類	追加	テガタアオキノリ	<i>Scytinium palmatum</i> (Huds.) Gray		CR-r	VU	A	九州地方で本県（白岩山）が唯一の産地であり、本県が国内南限でもある。
地衣類	追加	ツエミハシゴケ	<i>Barubria fuscorubra</i> (Vězda) Vězda		DD-l	DD	A	国内で本県の1箇所（産地不明）が唯一の産地である。
地衣類	追加	ホソセスジモジゴケ	<i>Graphis schiffneri</i> Zahlbr.		DD-l		A	国内で本県（宮崎市）と沖縄県の2箇所が産地であり、本県が国内北限でもある。
地衣類	追加	ワタハシゴケ	<i>Lasioloma arachnoideum</i> (Kremp.) R.Sant.		DD-l		A	国内で4箇所の産地が知られ、本県（猪八重溪谷）が九州本島の唯一の産地であり、本県が国内北限でもある。
地衣類	追加	ヤクシマゴイシゴケ	<i>Lecidea fuscoatrara</i> Nyl.		DD-l		A	国内で本県（市房山）と鹿児島県の2箇所が産地であり、本県が国内北限でもある。
地衣類	追加	トゲウチキウメノキゴケ	<i>Myelochroa perisidians</i> (Nyl.) Elix & Hale		DD-l		C	九州地方で本県（諸塚村）が唯一の産地であり、本県が国内南限でもある。
地衣類	追加	イシガキメゴケ	<i>Myriotrema rugiferarm</i> (Harm.) Hale		DD-l		A	国内で本県の1箇所（権現崎）が唯一の産地である。
地衣類	追加	ナリアイウメノキゴケ	<i>Parmelina quercina</i> (Willd.) Hale		DD-l		A	九州地方で本県（綾町）が唯一の産地であり、本県が国内南限でもある。
地衣類	追加	トゲコガネビスケットゴケ	<i>Rinodina chrysiata</i> Sheard		DD-l		A	国内で本県（白岩山）と北海道の2箇所が産地であり、本県が国内南限でもある。
地衣類	追加	ヨシナガフジゴケ	<i>Thelotrema faveolare</i> Müll.Arg.		DD-l		A	国内で本県（行徳山）と高知県の2箇所が産地であり、本県が国内南限でもある。

宮崎県版レッドリスト（2020年度改訂版） カテゴリー等変更理由一覧

分類群	追加 変更	種名（種・亜種・変種）	学名	旧宮崎県 区分	新宮崎県 区分	環境省 区分	種の 重要度	変更理由
菌類	変更	クチキゴキブリタケ	<i>Ophiocordyceps salganeicola</i> Araujo, Moriguchi & Matsuura	CR-g	CR-g		A	和名、学名の変更。
菌類	変更	ヤコウタケ	<i>Mycena chlorophos</i> (Berk. & M.A. Curtis) Sacc.	EN-r	EN-g		A	発生環境を再検証した結果、広く分布していた可能性が高い。
菌類	変更	スナヤマチャワシタケ	<i>Lamprospora ammophila</i> (Saut.) Boud	EN-r	EN-g		B	発生環境を再検証した結果、広く分布していた可能性が高い。
菌類	変更	クロカワ	<i>Boletopsis leucomelaena</i> (Pers.) Fayod	VU-g	NT-g	DD	C	発生地を新たに確認。生育環境が県内に残っている可能性あり。
菌類	変更	サカズキアンズタケ	<i>Cantharellus cyphelloides</i> Suhara & S. Kurogi	EN-g	NT-g		A	発生地を新たに確認。生育環境が県内に残っている可能性あり。
菌類	変更	シイノトモシビタケ	<i>Mycena lux-coeli</i> Corner	VU-g	NT-g		A	綾町で新たな発生地が確認され、発生地は限られるが広く点在する可能性がある。
菌類	変更	ヒュウガサラタケ	<i>Phillipsia dochmia</i> (Berk. & M.A. Curtis) Seaver	EN-r	NT-g		B	発生地を新たに確認。生育環境が県内に残っている可能性あり。
菌類	追加	タマノリイグチ	<i>Pseudoboletus astraicicola</i> (Imazeki) Šutara		CR-g		A	希少種、新産地確認。
菌類	追加	モミタケ	<i>Catathelasma ventricosum</i> (Peck) Singer		NT-g		A	南限域の針葉樹林に発生。新産地確認。聞き取りにより以前より減少している。
菌類	追加	ギンガタケ	<i>Resinomycena fulgens</i> Har. Takah., Taneyama & Oba		NT-g		A	希少種、新産地確認。

宮崎県版レッドリスト（2020年度改訂版） カテゴリー等変更理由一覧

分類群	追加 変更	種名（種・亜種・変種）	学名	旧宮崎県 区分	新宮崎県 区分	環境省 区分	種の 重要度	変更理由
哺乳類	変更	ニホンカモシカ	<i>Capricornis crispus</i> (Temminck, 1845)	NT-g	VU-g	LP	A	第4回カモシカ調査以降シカとの競合のため急激に個体数が減り、現在は県内で140頭前後の生息数。そのため、NT→VU、重要度はAにする。
哺乳類	変更	ニホンイタチ	<i>Mustela itatsi</i> Temminck, 1844	DD-2	NT-g		B	DNAによる種判定法、ないしセンサーカメラによる写真撮影法などの進歩のため、都市部以外での確認が増えた。
哺乳類	変更	都井岬の岬馬	<i>Equus caballus</i> Linnaeus, 1758	OT-1	OT-1		B	現在御崎馬管理組合により管理が進んでおり、野生ウマと名付けることは適切ではないので、天然記念物名の「岬馬」に変更。

宮崎県版レッドリスト（2020年度改訂版） カテゴリー等変更理由一覧

分類群	追加 変更	種名（種・亜種・変種）	学名	旧宮崎県 区分	新宮崎県 区分	環境省 区分	種の 重要度	変更理由
鳥類	変更	ウズラ	<i>Coturnix japonica</i> Temminck & Schlegel, 1849	EN-g	CR-d	VU	A	10年以上記録がない。
鳥類	変更	コノハズク	<i>Otus sunia japonicus</i> Temminck & Schlegel, 1844	EN-r	CR-d		A	20年以上記録がない。
鳥類	変更	アナドリ	<i>Bulweria bulwerii</i> (Jardine & Selby, 1828)	DD-2	EN-r		A	生息環境極限、個体数極少ない。
鳥類	変更	チュウヒ	<i>Circus spilonotus spilonotus</i> Kaup, 1847	EN-r	EN-r	EN	A	重要度の変更。
鳥類	変更	タマシギ	<i>Rostratula benghalensis benghalensis</i> (Linnaeus, 1758)	NT-r	VU-r	VU	A	繁殖環境の悪化により個体数の激減。
鳥類	変更	コミミズク	<i>Asio flammeus flammeus</i> (Pontoppidan, 1763)	NT-r	VU-r		B	繁殖環境の悪化により個体数の激減。
鳥類	変更	コシアカツバメ	<i>Hirundo daurica japonica</i> Temminck & Schlegel, 1845	NT-g	VU-g		B	個体数の減少、繁殖確認の減少。
鳥類	変更	タカブシギ	<i>Tringa glareola</i> Linnaeus, 1758	NT-r	NT-r	VU	C	重要度の変更。
鳥類	変更	クロツグミ	<i>Turdus cardis</i> Temminck, 1831	DD-2	NT-r		B	夏季に記録されるが個体数少ない。
鳥類	変更	サシバ	<i>Butastur indicus</i> (Gmelin, 1788)	NT-g	NT-g	VU	B	重要度の変更。
鳥類	変更	メボソムシクイ	<i>Phylloscopus xanthodryas</i> Swinhoe, 1863	DD-2	DD-2		B	九州山地高標高地で少数が夏季に生息するが繁殖は未確認。
鳥類	変更	ルリビタキ	<i>Tarsiger cyanurus cyanurus</i> (Pallas, 1773)	DD-2	DD-2		A	九州唯一の繁殖地及び繁殖南限、県内で繁殖する個体群を対象。
鳥類	追加	ゴイサギ	<i>Nycticorax nycticorax nycticorax</i> (Linnaeus, 1758)		NT-g		B	個体数の減少。
鳥類	追加	ササゴイ	<i>Butorides striata amurensis</i> (Schrenck, 1860)		NT-g		B	繁殖環境の悪化により個体数が減少傾向。
鳥類	追加	バン	<i>Gallinula chloropus chloropus</i> (Linnaeus, 1758)		NT-g		B	個体数の減少。
鳥類	追加	コチドリ	<i>Charadrius dubius curonicus</i> Gmelin, 1789		NT-g		B	繁殖個体数・生息数の減少。
鳥類	追加	ハマシギ	<i>Calidris alpina sakhalina</i> (Vieillot, 1816)		NT-g	NT	B	減少傾向にあるため国に準じる。
鳥類	追加	クロジ	<i>Emberiza variabilis</i> Temminck, 1836		NT-g		C	生息環境の悪化により個体数が極端に減少。

宮崎県版レッドリスト（2020年度改訂版） カテゴリー等変更理由一覧

分類群	追加 変更	種名（種・亜種・変種）	学名	旧宮崎県 区分	新宮崎県 区分	環境省 区分	種の 重要度	変更理由
爬虫類・両生類	変更	オオイタサンショウウオ	<i>Hynobius dunni</i> Tago, 1931	EN-r	EN-r	VU	A	環境区分の変更。
爬虫類・両生類	変更	ソボサンショウウオ	<i>Hynobius shinichisatoi</i> Nishikawa et Matsui, 2014	EN-r	EN-r	EN	A	環境区分の変更。
爬虫類・両生類	変更	ベッコウサンショウウオ	<i>Hynobius ikiioi</i> Matsui, Nishikawa et Tominaga, 2017	EN-g	EN-g	VU	A	学名の変更。環境区分の変更。
爬虫類・両生類	変更	アオウミガメ	<i>Chelonia mydas mydas</i> (Linnaeus, 1758)	VU-r	VU-r	VU	B	学名の変更。環境区分の変更。
爬虫類・両生類	変更	ニホンイシガメ	<i>Mauremys japonica</i> (Temminck et Schlegel, 1838)	VU-r	VU-r	NT	B	学名の変更。
爬虫類・両生類	変更	タワヤモリ	<i>Gekko tawaensis</i> Okada, 1956	OT-1	VU-r	NT	A	生息状況の詳細が判明した。
爬虫類・両生類	変更	コガタブチサンショウウオ	<i>Hynobius stejnegeri</i> Dunn, 1923	VU-g	VU-g	VU	A	学名の変更。地形区分の変更。
爬虫類・両生類	変更	ヤクヤモリ	<i>Gekko yakuensis</i> Matsui et Okada, 1968	OT-1	NT-r	VU	A	生息状況の詳細が判明した。
爬虫類・両生類	変更	ニホンヒキガエル	<i>Bufo japonicus japonicus</i> Temminck et Schlegel, 1838	NT-g	NT-g		C	絶滅・減少の原因等、地形区分の変更。
爬虫類・両生類	変更	トノサマガエル	<i>Pelophylax nigromaculatus</i> (Hallowell, 1861)	NT-g	NT-g	NT	B	絶滅・減少の原因等、地形区分の変更。
爬虫類・両生類	変更	ニホンスッポン	<i>Pelodiscus sinensis</i> (Wiegmann, 1834)	DD-2	DD-2	DD	C	学名の変更。種の特性的変更。環境区分の変更。
爬虫類・両生類	変更	タカチホヘビ	<i>Achalinus spinalis</i> Peters, 1869	DD-2	DD-2		C	地形区分の変更。
爬虫類・両生類	変更	シロマダラ	<i>Lycodon orientalis</i> (Hilgendorf, 1880)	DD-2	DD-2		C	学名の変更。地形区分の変更。

宮崎県版レッドリスト（2020年度改訂版） カテゴリー等変更理由一覧

分類群	追加 変更	種名（種・亜種・変種）	学名	旧宮崎県 区分	新宮崎県 区分	環境省 区分	種の 重要度	変更理由
魚類	変更	アリアケギバチ	<i>Tachysurus aurantiacus</i> (Temminck & Schlegel 1846)	CR-r	CR-r	VU	A	環境省変更。
魚類	変更	ドジョウ	<i>Misgurnus anguillicaudatus</i> (Cantor 1842)	NT-g	NT-g	NT	B	環境省変更。
魚類	追加	ヤマトシマドジョウ	<i>Cobitis matsubarae</i> Okada & Ikeda, 1939		EN-r	VU	A	正確に同定が可能になり生息が確認された標本を調査で得た。また報告もされた(中島ら 2019)。
魚類	追加	オニノウチワ	<i>Platyrrhina hyugaensis</i> Iwatsuki, Miyamoto & Nakaya 2011		DD-2		A	Iwatsuki et al (2011)により新種記載された。日向灘の固有種と言ってもよい魚で、ウチワザメより浅瀬に生息する傾向が強い。海水浴場の水深1mの砂浜にもやってくる。
魚類	追加	ハチジョウタツ	<i>Hippocampus japapigu</i> Short, Smith, Motomura, Harasti & Hamilton 2018		DD-2		A	有名なダイバースポットの生息域は守られているが、それ以外では販売目的で採集されているようで、殆ど見かけない。ダイバースポットの生息域の採集は控えてきたので、標本が無く正確に同定出来ていない。ネットの写真からこの種を含めて4種生息していると判断。
魚類	追加	カクレタツノコ	<i>Hippocampus denise</i> Lourie & Randall 2003		DD-2		A	有名なダイバースポットの生息域は守られているが、それ以外では販売目的で採集されているようで、殆ど見かけない。ダイバースポットの生息域の採集は控えてきたので、標本が無く正確に同定出来ていない。ネットの写真からこの種を含めて4種生息している。
魚類	追加	ユリタツノコ	<i>Hippocampus pontohi</i> Lourie & Kuitert 2008		DD-2		A	有名なダイバースポットの生息域は守られているが、それ以外では販売目的で採集されているようで、殆ど見かけない。ダイバースポットの生息域の採集は控えてきたので、標本が無く正確に同定出来ていない。ネットの写真からこの種を含めて4種生息している。
魚類	追加	(和名なし)	<i>Hippocampus bargibanti</i> Whitley, 1970		DD-2		A	有名なダイバースポットの生息域は守られているが、それ以外では販売目的で採集されているようで、殆ど見かけない。ダイバースポットの生息域の採集は控えてきたので、標本が無く正確に同定出来ていない。ネットの写真からこの種を含めて4種生息している。
魚類	追加	ハダカハオコゼ	<i>Taenianotus triacanthus</i> Lacepède 1802		DD-2		A	有名なダイバースポットの生息域は守られているが、それ以外では販売目的で採集されているようで、見かけない。ダイバースポットの生息域の採集は控えてきたので、標本が無い。
魚類	追加	福島川上流の日本最南限個体群のヤマメ	<i>Oncorhynchus masou masou</i> (Brevoort, 1856)		OT-2	NT	A	日本最南限個体群として固有で特異的な3つの遺伝系統が確認された(Iwatsuki et al. 2019)

宮崎県版レッドリスト（2020年度改訂版） カテゴリー等変更理由一覧

分類群	追加 変更	種名（種・亜種・変種）	学名	旧宮崎県 区分	新宮崎県 区分	環境省 区分	種の 重要度	変更理由
昆虫類	変更	ミナミトンボ	<i>Hemicordulia mindana nipponica</i> Asahina, 1980	CR-r	EX-r	VU	A	最後の生息地の環境がなくなり、追加記録もない。環境省区分変更。
昆虫類	変更	スジゲンゴロウ	<i>Hydaticus satoi</i> Wewalka, 1975	EX-r	EX-r	EX	A	環境省区分変更。
昆虫類	変更	オオイトトンボ	<i>Paracercion sieboldii</i> (Selys, 1876)	CR-g	EX-g		C	50年以上記録がない。
昆虫類	変更	コバネアオイトトンボ	<i>Lestes japonicus</i> Selys, 1883	EN-r	CR-r	EN	B	生息環境がなくなってきている。環境省区分変更。
昆虫類	変更	モートンイトトンボ	<i>Mortonagrion selenion</i> (Ris, 1916)	EN-r	CR-r	NT	B	確実な産地は1箇所のみ。
昆虫類	変更	フタスジサナエ	<i>Trigomphus interruptus</i> (Selys, 1854)	EN-r	CR-r	NT	B	確実な産地は2箇所のみ。環境省区分変更。
昆虫類	変更	ベッコウトンボ	<i>Libellula angelina</i> Selys, 1883	CR-r	CR-r	CR	A	環境省区分変更。
昆虫類	変更	ヤマトマダラバツタ	<i>Epacromius japonicus</i> (Shiraki, 1910)		CR-r		B	海岸の砂浜や護岸により、危機的状況な場所が増加。
昆虫類	変更	ムモンチビコツブゲンゴロウ	<i>Neohydrocoptus</i> sp.	CR-r	CR-r	VU	B	環境省区分変更。
昆虫類	変更	キボシチビコツブゲンゴロウ	<i>Neohydrocoptus bivittis</i> (Motschulsky, 1859)	DD-1	CR-r	EN	B	1カ所のみ記録。環境省区分変更。
昆虫類	変更	コシマチビゲンゴロウ	<i>Nebrioporus hostilis</i> (Sharp, 1884)	VU-r	CR-r	VU	A	1カ所のみ記録。環境省区分変更。
昆虫類	変更	ルイスツブゲンゴロウ	<i>Laccophilus lewisius</i> Sharp, 1873	EN-r	CR-r	VU	B	近年の記録はない。環境省区分変更。
昆虫類	変更	マルコガタノゲンゴロウ	<i>Cybister lewisianus</i> Sharp, 1873	CR-r	CR-r	CR	A	環境省区分変更。
昆虫類	変更	ヒメシロチョウ	<i>Leptidea amurensis amurensis</i> (Ménétrières, 1858)	CR-r	CR-r	EN	B	環境省区分変更。
昆虫類	変更	ウラゴマダラシジミ	<i>Artopoetes pryeri</i> (Murray, 1873)	EN-r	CR-r		B	生息地は極めて狭く、絶滅の危機は大きい。
昆虫類	変更	クロシジミ	<i>Niphanda fusca fusca</i> (Bremer et Grey, 1852)	EN-r	CR-r	EN	B	近年、五ヶ所高原以外は、ほとんど記録がない。環境省区分変更。
昆虫類	変更	ゴマシジミ	<i>Phengaris teleius daisensis</i> (Matsumura, 1926)	CR-r	CR-r	EN	A	環境省区分変更。
昆虫類	変更	ゲンゴロウ	<i>Cybister japonicus</i> Motschulsky, 1854	CR-g	CR-g	VU	B	環境省区分変更。
昆虫類	変更	ミズスマシ	<i>Gyrinus japonicus</i> Sharp, 1873	EN-g	CR-g	VU	B	近年、極めて希となっている。環境省区分変更。
昆虫類	変更	コムズスマシ	<i>Gyrinus curtus</i> Motschulsky, 1866	EN-g	CR-g	EN	B	近年、極めて希となっている。環境省区分変更。
昆虫類	変更	アサカミキリ	<i>Thyestilla gebleri</i> (Faldermann, 1835)	VU-r	CR-g	VU	B	近年、記録がない。環境省区分変更。
昆虫類	変更	クワトゲエダシヤク	<i>Apochima excavata</i> (Dyar, 1905)	DD-2	CR-g	NT	C	近年、記録がない。環境省区分変更。
昆虫類	変更	ウラギンズジヒョウモン	<i>Argynnis (Argyronome) laodice japonica</i> (Ménétrières, 1857)	CR-g	CR-g	VU	B	環境省区分変更。
昆虫類	変更	オオウラギンヒョウモン	<i>Argynnis (Fabriciana) nerippe</i> (C. Felder et R. Felder, 1862)	CR-g	CR-g	CR	A	環境省区分変更。
昆虫類	変更	ハネビロエゾトンボ	<i>Somatochlora clavata</i> Oguma, 1913	VU-r	EN-r	VU	B	近年、希となっている。環境省区分変更。
昆虫類	変更	キイロヤマトンボ	<i>Macromia daimoji</i> Okumura, 1949	VU-r	EN-r	NT	C	近年、希となっている。
昆虫類	変更	ナギサスズ	<i>Caconemobius sazanami</i> Furukawa, 1970	NT-r	VU-r		C	海岸環境の変化のより減少。
昆虫類	変更	ムサシセモンササキリモドキ	<i>Nipponomeconema subpunctatum</i> (Motschulsky, 1866)	VU-r	EN-r		C	シカの食害により危機的状況。
昆虫類	変更	クロダケササキリモドキ	<i>Tettigoniopsis kurodakensis</i> Abe, 1988	VU-r	DD-2		B	かなりの減少が見込まれるが詳細不明。
昆虫類	変更	マダラコガシラミズムシ	<i>Haliplus sharpi</i> Wehncke, 1880	CR-r	EN-r	VU	B	近年、希となっている。環境省区分変更。
昆虫類	変更	クロゲンゴロウ	<i>Cybister brevis</i> Aubé, 1838	NT-r	EN-r	NT	B	近年、希となっている。環境省区分変更。
昆虫類	変更	コガムシ	<i>Hydrochara affinis</i> (Sharp, 1873)	VU-r	EN-r	DD	B	近年、希となっている。環境省区分変更。
昆虫類	変更	ウラジロミドリシジミ	<i>Favonius saphirinus saphirinus</i> (Staudinger, 1887)	NT-g	EN-r		B	近年、生息地や個体数が減少している。
昆虫類	変更	ミヤマカラスシジミ	<i>Fixsenia mera</i> (Janson, 1877)	VU-r	EN-r		A	近年、生息地や個体数が減少している。
昆虫類	変更	ネアカヨシヤンマ	<i>Aeschnophlebia anisoptera</i> Selys, 1883	VU-g	EN-g	NT	B	近年、生息地や個体数が減少している。環境省区分変更。
昆虫類	変更	タガメ	<i>Kirkaldyia deyrolli</i> (Vuillefroy, 1864)	VU-g	EN-g	VU	B	近年、生息地や個体数が減少している。
昆虫類	変更	イカリモンハンミョウ	<i>Abrosclis anchoralis punctatissima</i> (Schaum, 1863)	VU-g	EN-g	EN	A	海岸の砂浜や護岸により、危機的状況な場所が増加。環境省区分変更。
昆虫類	変更	チンメルマンセスジゲンゴロウ	<i>Copelatus zimmermanni</i> Gschwendtner, 1934	NT-g	EN-g		B	近年、希となっている。
昆虫類	変更	ヒメミズスマシ	<i>Gyrnus gestroi</i> Régimbart, 1883	VU-g	EN-g	EN	B	近年、希となっている。
昆虫類	変更	オオミズスマシ	<i>Dineutus orientalis</i> (Modeer, 1776)	VU-g	EN-g	NT	B	近年、希となっている。
昆虫類	変更	コガタガムシ	<i>Hydrophilus bilineatus cashimirensis</i> Redtenbacher, 1844	EN-g	EN-g	VU	B	環境省区分変更。
昆虫類	変更	オオクワガタ	<i>Dorcus hopei binodulosus</i> (Waterhouse, 1874)	VU-g	EN-g	VU	B	近年、希となっている。環境省区分変更。
昆虫類	変更	アシナガモモブトスカシバ	<i>Macroscelisia longipes</i> (Moore, 1877)	VU-g	EN-g	VU	B	生息地の悪化。環境省区分変更。
昆虫類	変更	タイワンツバメシジミ	<i>Everes lacturnus kawaii</i> Matsumura, 1926	EN-g	EN-g	EN	B	環境省区分変更。
昆虫類	変更	サトウラギンヒョウモン	<i>Argynnis (Fabriciana) pallescens pallescens</i> (Butler, 1873)	EN-g	EN-g		B	新和名の名称に変更。
昆虫類	変更	ムカシヤンマ	<i>Tanypteryx pryeri</i> (Selys, 1889)	NT-r	VU-r		B	近年、産地・個体数とも減少。
昆虫類	変更	ヨツボシトンボ	<i>Libellula quadrimaculata</i> asahinai Schmidt, 1957	NT-r	VU-r		C	近年、産地・個体数とも減少。
昆虫類	変更	タイワンシオカラトンボ	<i>Orthetrum glaucum</i> (Brauer, 1865)	CR-r	VU-r		B	産地は比較的安定している。
昆虫類	変更	ヒメミズカマキリ	<i>Ranatra unicolor</i> Scott, 1874	NT-r	VU-r		C	溜池環境の悪化により、減少。
昆虫類	変更	イトアメンボ	<i>Hydrometra albolineata</i> (Scott, 1874)	VU-r	VU-r	VU	B	環境省区分変更。
昆虫類	変更	ハラビロハンミョウ	<i>Calomera angulata nipponesis</i> (Bates, 1883)	VU-r	VU-r	VU	B	環境省区分変更。
昆虫類	変更	ホソハンミョウ	<i>Cicindela gracilis</i> (Pallas, 1773)	DD-2	VU-r	VU	B	草原環境の悪化による減少。環境省区分変更。
昆虫類	変更	セアカオサムシ	<i>Carabus tuberculatus</i> Dejean, 1829	VU-r	VU-r	NT	B	環境省区分変更。
昆虫類	変更	ムツボシツヤコツブゲンゴロウ	<i>Canthyrus politus</i> (Sharp, 1873)	VU-r	VU-r	VU	B	環境省区分変更。

宮崎県版レッドリスト（2020年度改訂版） カテゴリー等変更理由一覧

分類群	追加 変更	種名（種・亜種・変種）	学名	旧宮崎県 区分	新宮崎県 区分	環境省 区分	種の 重要度	変更理由
昆虫類	変更	ヒメケシゲンゴロウ	<i>Hyphydrus laeiventris laeiventris</i> Sharp, 1882	VU-r	VU-r	VU	B	環境省区分変更。
昆虫類	変更	マルケシゲンゴロウ	<i>Hydrovatus subtilis</i> Sharp, 1882	VU-r	VU-r	NT	C	環境省区分変更。
昆虫類	変更	オオマルケシゲンゴロウ	<i>Hydrovatus bonvouloiri</i> Sharp, 1882	VU-r	VU-r	NT	B	環境省区分変更。
昆虫類	変更	マルチビゲンゴロウ	<i>Leiodytes frontalis</i> (Sharp, 1884)	NT-g	VU-r	NT	B	近年、産地・個体数とも減少。環境省区分変更。
昆虫類	変更	ナガマルチビゲンゴロウ	<i>Leiodytes kyushuensis</i> (Nakane, 1990)	NT-r	VU-r		B	近年、産地・個体数とも減少。
昆虫類	変更	コウベツブゲンゴロウ	<i>Laccophilus kobensis</i> Sharp, 1873	VU-r	VU-r	NT	C	環境省区分変更。
昆虫類	変更	ナチセスジゲンゴロウ	<i>Copelatus tomokunii</i> M. Satô, 1985	CR-r	VU-r		A	やや広く分布することが判明。
昆虫類	変更	ツノクロツヤムシ	<i>Cylindrocaulus patalis</i> (Lewis, 1883)	NT-r	VU-r		B	温暖化とシカの食害によるブナ林の衰退。
昆虫類	変更	ヒメオオクワガタ（九州亜種）	<i>Dorcus montivagus adachii</i> Fujita et Ichikawa, 1987	NT-r	VU-r		B	温暖化とシカの食害によるブナ林の衰退。
昆虫類	変更	ダイコクコガネ	<i>Copris ochus</i> (Motschulsky, 1860)	NT-r	VU-r	VU	B	近年、産地・個体数とも減少。環境省区分変更。
昆虫類	変更	イセテントウ	<i>Chujochilus isensis</i> (H. Kamiya, 1966)	NT-r	VU-r		B	近年、産地・個体数とも減少。
昆虫類	変更	トガリバホソコバネカミキリ	<i>Necydalis niimurai</i> Hayashi, 1949	NT-r	VU-r		C	シカの食害によるタンナサワフタギ林の衰退。
昆虫類	変更	ヒゲシロホソコバネカミキリ	<i>Necydalis odai</i> Hayashi, 1951	NT-r	VU-r		C	温暖化とシカの食害によるミズナラ林の衰退。
昆虫類	変更	オオホソコバネカミキリ	<i>Necydalis solida</i> Bates, 1884	NT-r	VU-r		C	温暖化とシカの食害によるブナ・ミズナラ林の衰退。
昆虫類	変更	ナカネアメイロカミキリ	<i>Obrium nakanei</i> Ohbayashi, 1959	DD-2	VU-r		B	シカの食害によるセンノキ（ハリギリ）等の落葉広葉樹林の衰退。
昆虫類	変更	タカオメダカミキリ	<i>Stenomolus takaosanus</i> Ohbayashi, 1958	DD-2	VU-r		B	温暖化とシカの食害によるブナ林の衰退。
昆虫類	変更	スネケブカヒロコバネカミキリ	<i>Merionoeda hirsuta</i> (Mitono et Nishimura, 1936)	NT-r	VU-r		C	シカの食害と伐採による自然林の減少に伴うネムノキの減少。
昆虫類	変更	クロマルハナバチ	<i>Bombus (Bombus) ignites</i> Smith, 1869	VU-r	VU-r	NT	C	環境省区分変更。
昆虫類	変更	ヒメスズメ	<i>Deilephila askoldensis</i> (Oberthür, 1879)	VU-r	VU-r	NT	B	環境省区分変更。
昆虫類	変更	トラサンドクガ	<i>Kidokuga torasan</i> (Holland, 1889)	DD-2	VU-r	NT	B	近年、産地・個体数とも減少。環境省区分変更。
昆虫類	変更	シルビアシジミ	<i>Zizina emelina emelina</i> (de l'Orza, 1869)	VU-r	VU-r	EN	C	環境省区分変更。
昆虫類	変更	ヤマウラギンヒョウモン	<i>Argynnis (Fabriciana) nagiae</i> Shinkawa et Iwasaki, 2019	VU-r	VU-r		B	新和名の名称。
昆虫類	変更	ホシミスジ（九州亜種）	<i>Neptis iwasei shirozutakashii</i> Minotani, Fukuda, Shinkawa et Ito, 2017	VU-r	VU-r		B	新亜種名の追加。
昆虫類	変更	キマダラモドキ	<i>Kirinia fentoni</i> (Butler, 1877)	NT-r	VU-r	NT	B	近年、産地・個体数とも減少。
昆虫類	変更	キイロサナエ	<i>Asiagomphus pryeri</i> (Selys, 1883)	VU-g	VU-g	NT	C	環境省区分変更。
昆虫類	変更	コオイムシ	<i>Appasus japonicus</i> Vuillefroy, 1864	NT-g	VU-g	NT	B	溜池環境の悪化により、減少。環境省区分変更。
昆虫類	変更	キイロコガシラミズムシ	<i>Haliplus eximius</i> Clark, 1863	VU-g	VU-g	VU	C	環境省区分変更。
昆虫類	変更	シャープツブゲンゴロウ	<i>Laccophilus sharpi</i> Régimbart, 1889	NT-g	VU-g	NT	C	溜池環境の悪化により、減少。環境省区分変更。
昆虫類	変更	ヘイケボタル	<i>Luciola lateralis</i> Motschulsky, 1860	VU-g	VU-g		B	カワニナヤモノアラガイの減少。特に圃場整備による環境変化により減少。
昆虫類	変更	ハラグロオオテントウ	<i>Callicaria superba</i> (Mulsant, 1853)	NT-g	VU-g		C	クワに発生するクワキジラミ減少のため、減少。
昆虫類	変更	トラフカミキリ	<i>Xylotrechus chinensis chinensis</i> (Chevrolat, 1852)	NT-g	VU-g		C	クワの木の減少のため。
昆虫類	変更	ニッポンハナダカバチ	<i>Bembix niponica</i> Smith, 1873	VU-g	VU-g	VU	C	環境省区分変更。
昆虫類	変更	ルーミスシジミ	<i>Arhopala ganesa loomisi</i> (H.Pryer, 1886)	VU-g	VU-g	VU	A	環境省区分変更。
昆虫類	変更	オオウラギンズジヒョウモン	<i>Argynnis (Argyronome) ruslana</i> (Motschulsky, 1866)	NT-g	VU-g		B	近年、産地・個体数とも減少。
昆虫類	変更	クモガタヒョウモン	<i>Argynnis (Nephargynnis) anadyomene ella</i> (Bremer, [1865])	NT-g	VU-g		B	近年、産地・個体数とも減少。
昆虫類	変更	カラスヤンマ(亜種名ミナミヤンマ)	<i>Chlorogomphus brunneus costalis</i> Asahina, 1949	NT-r	NT-r		C	亜種名追加。
昆虫類	変更	タカネトンボ	<i>Somatochlora uchidai</i> Förster, 1909	NT-r	NT-r	VU	C	環境省区分変更。
昆虫類	変更	ニシキキンカメムシ	<i>Poecilocoris splendidulus</i> Esaki, 1935	DD-2	NT-r		B	生息地の状況が判明。ただちに減少は見られない。
昆虫類	変更	シロヘリハンミョウ	<i>Callytron yuasai yuasai</i> (Nakane, 1955)	NT-r	NT-r	NT	C	環境省区分変更。
昆虫類	変更	オナガビズスマシ	<i>Orectochilus regimbarti</i> Sharp, 1884	EN-r	NT-r		B	県内に広く分布することが判明。減少気味。
昆虫類	変更	ニセコルリクワガタ（九州亜種）	<i>Platyceerus urushiyamai</i> Imura, 2007	NT-r	NT-r		B	温暖化とシカの食害によるブナ林の衰退。
昆虫類	変更	ウドハナボタル	<i>Plateros udoensis</i> Nakane, 1985	DD-2	NT-r		B	近年、産地・個体数とも減少。
昆虫類	変更	クロヒメコメツキモドキ	<i>Anadastus matsuzawai</i> Chujo, 1955	DD-2	NT-r		C	近年、産地・個体数とも減少。
昆虫類	変更	ニッポンモモトコバネカミキリ	<i>Merionoeda formosana septentrionalis</i> Tamu et Tsukamoto, 1952	DD-2	NT-r		C	ヤブニッケイやタブなどが生育する自然林の減少。
昆虫類	変更	ジユウジクロカミキリ	<i>Clytosemia pulchra</i> Bates, 1884	DD-2	NT-r		C	オニグルミ、サワグルミ、ホオノキが生育する自然林の減少。
昆虫類	変更	ナカバヤシモモトカミキリ	<i>Leiopus guttatus</i> Bates, 1873	DD-2	NT-r		C	アカマツ、クロマツ林の減少。
昆虫類	変更	オオマルハナバチ	<i>Bombus (Bombus) hypocrita</i> Pérez, 1905	NT-r	NT-r		C	特定外来生物指定のセイヨウオオマルハナバチの侵入のため減少。
昆虫類	変更	コシロシタバ	<i>Catocala actaea</i> Felder et Rogenhofer, 1874	NT-r	NT-r	NT	C	環境省区分変更。
昆虫類	変更	オオシモフリヨトウ	<i>Polia goliath</i> (Oberthür, 1880)	DD-2	NT-r		C	近年、産地・個体数とも減少。
昆虫類	変更	ウラクロシジミ	<i>Iratsume orsedice orsedice</i> (Butler, [1882])	DD-2	NT-r		B	近年、産地・個体数とも減少。
昆虫類	変更	シロテンコウモリ	<i>Palpifer sexnotatus niponicus</i> (Butler, 1879)	DD-2	NT-r		C	近年、産地・個体数とも減少。
昆虫類	変更	ヒメゴマダラシロナミシャク	<i>Naxidia semiobscura</i> Inoue, 1955	DD-2	NT-r		C	近年、産地・個体数とも減少。
昆虫類	変更	クロヤエナミシャク	<i>Triphosa vashti vashti</i> (Butler, 1878)	DD-2	NT-r		C	近年、産地・個体数とも減少。
昆虫類	変更	キイロトゲエダシャク	<i>Aochima praeacutaria</i> (Inoue, 1976)	DD-2	NT-r		C	近年、産地・個体数とも減少。

宮崎県版レッドリスト（2020年度改訂版） カテゴリー等変更理由一覧

分類群	追加 変更	種名（種・亜種・変種）	学名	旧宮崎県 区分	新宮崎県 区分	環境省 区分	種の 重要度	変更理由
昆虫類	変更	ミナミクロモンアオシヤク	<i>Comibaena subdelicata</i> Inoue, 1986	DD-2	NT-r		C	近年、産地・個体数とも減少。
昆虫類	変更	コウチスズメ	<i>Smerinthus tokyonis</i> Matsumura, 1921	DD-2	NT-r		B	近年、産地・個体数とも減少。
昆虫類	変更	アオハダトンボ	<i>Calopteryx japonica</i> Selys, 1869	NT-g	NT-g	NT	C	環境省区分変更。
昆虫類	変更	アマミトガリナナフシ	<i>Entoria miyakoensis</i> Shiraki, 1935	DD-2	NT-g		C	近年、産地・個体数とも減少。
昆虫類	変更	アイヌハンミョウ	<i>Cicindela gemmata</i> aino Lewis, 1891	NT-g	NT-g	NT	C	環境省区分変更。
昆虫類	変更	ムネアカセンチコガネ	<i>Bolbocerosoma nigroplagiatum</i> (Waterhouse, 1857)	NT-g	NT-g		C	シカ食害による山地林床の乾燥化のため減少。
昆虫類	変更	ミヤマダイコクコガネ	<i>Copris pecuarius</i> Lewis, 1884	DD-2	NT-g		B	シカ食害による山地林床の乾燥化のため減少。
昆虫類	変更	キョウトアオハナムグリ	<i>Protaetia lenzi</i> (Harold, 1876)	DD-2	NT-g		C	自然林の林床の良好な腐葉土が豊かである環境の減少。
昆虫類	変更	クロカナブン	<i>Rhomborhina polita</i> Waterhouse, 1875	NT-g	NT-g		C	自然林の林床の良好な腐葉土が豊かである環境の減少。
昆虫類	変更	キンヘリタマムシ	<i>Lamprodila pretiosa inexpecta</i> (Y.Kurosawa, 1953)	NT-g	NT-g		B	ハルニレの減少のため。
昆虫類	変更	オオテントウ	<i>Synonycha grandis</i> (Thunberg, 1781)	NT-g	NT-g		C	自然林の林床の良好な腐葉土が豊かである環境の減少。
昆虫類	変更	ヒメボタル	<i>Luciola parvula</i> Kiesenwetter, 1874	NT-g	NT-g		B	自然林の林床の良好な腐葉土が豊かである環境の減少。
昆虫類	変更	オオナガクチキ	<i>Melandrya dubia niponica</i> Lewis, 1895	NT-g	NT-g		B	温暖化とシカの食害によるブナ林の衰退。
昆虫類	変更	オオクロカミキリ	<i>Megasemum quadricostulatum</i> Kraatz, 1879	DD-2	NT-g		C	アカマツ、クロマツ林の減少。
昆虫類	変更	ヤノトラカミキリ	<i>Xylotrechus yanoi</i> Gressitt, 1934	NT-g	NT-g		C	エノキが生育する自然林の減少。
昆虫類	変更	クリストフトラカミキリ	<i>Plagionotus christophi</i> (Kraatz, 1879)	NT-g	NT-g		C	クスギ林の減少。
昆虫類	変更	フチグロトゲエダシヤク	<i>Nyssiodes lefuarius</i> (Erschoff, 1872)	VU-g	NT-g		C	県内に広く分布することが判明。減少気味。
昆虫類	変更	ウスイロキシタバ	<i>Catocala intacta intacta</i> Leech, [1889]	DD-2	NT-g		C	近年、産地・個体数とも減少。
昆虫類	変更	ツマグロキチョウ	<i>Eurema laeta bethebeba</i> (Janson, 1878)	NT-g	NT-g	EN	C	環境省区分変更。
昆虫類	変更	スギタニルリシジミ（九州亜種）	<i>Celastrina sugitanii kyushuensis</i> Shirōzu, 1943	NT-g	NT-g		C	亜種名追加。
昆虫類	変更	ハリサシガメ	<i>Acanthaspis cincticrus</i> Stål, 1859	DD-2	DD-2	NT	C	環境省区分変更。
昆虫類	変更	ヤセオオヒラタカメムシ	<i>Mezira tremulae</i> (Germar, 1822)	DD-2	DD-2	NT	B	環境省区分変更。
昆虫類	変更	ナガイツツナガクチキ	<i>Rushia nagaii</i> (Nakane, 1975)	DD-2	DD-2		B	和名の変更。
昆虫類	変更	コガタノゲンゴロウ	<i>Cybister tripunctatus lateralis</i> Fabricius, 1798	NT-g	OT-1	VU	B	種として増加しているが、保護上重要である。環境省区分変更。
昆虫類	追加	ホンサナエ	<i>Shaogomphus postocularis postocularis</i> (Selys, 1869)		EX-r		B	50年以上記録がない。
昆虫類	追加	マルガタゲンゴロウ	<i>Graphoderus adamsii</i> (Clark, 1864)		EX-r		B	51年以上記録がない。
昆虫類	追加	カワラバツタ	<i>Eusphingonotus japonicus</i> (Saussure, 1888)		EX-g		B	50年以上記録がない。
昆虫類	追加	コオナガミズスマシ	<i>Orectochilus punctipennis</i> Sharp, 1884		EN-r	VU	B	近年、希となっている。環境省区分変更。
昆虫類	追加	ツブゲンゴロウ	<i>Laccophilus difficilis</i> Sharp, 1873		EN-g		C	近年、希となっている。
昆虫類	追加	マエアカヒトリ	<i>Aloa lactinea</i> (Cramer, 1777)		EN-g	NT	C	近年、記録がない。環境省区分変更。
昆虫類	追加	オオオカメコオロギ	<i>Loxoblemmus magnatus</i> Matsuura, 1986		VU-r		B	局所的分布で生息地でも少ない。
昆虫類	追加	コノシタウマ	<i>Diestrammena elegantissima</i> Griffini, 1912		VU-r		B	シカの食害により植生が被害を受け減少。
昆虫類	追加	チビクチキウマ	<i>Anoplophilus minor</i> Ishikawa, 2003		VU-r		B	シカの食害により植生が被害を受け減少。
昆虫類	追加	ウンゼンツユムシ	<i>Ducetia unzenensis</i> Yamasaki, 1983		VU-r		C	シカの食害により植生が被害を受け減少。
昆虫類	追加	カヤコオロギ	<i>Euscyrtus japonicus</i> Shiraki, 1930		VU-g		C	一部を除いて、減少が大きい。
昆虫類	追加	ズイムシハナカメムシ	<i>Lyctocoris beneficus</i> (Hiura, 1957)		VU-g	NT	C	近年、記録がない。環境省追加。
昆虫類	追加	クビボソコガシラミズムシ	<i>Haliplus japonicus</i> Sharp, 1873		VU-g	DD	B	溜池環境の悪化により、減少。環境省区分変更。
昆虫類	追加	ヒメコガシラミズムシ	<i>Haliplus ovalis</i> Sharp, 1884		VU-g		C	溜池環境の悪化により、減少。
昆虫類	追加	クロズマメゲンゴロウ	<i>Agabus conspicuus</i> Sharp, 1873		VU-g		C	溜池環境の悪化により、減少。
昆虫類	追加	シジミガムシ	<i>Laccobius bedeli</i> Sharp, 1884		VU-g	EN	B	溜池環境の悪化により、減少。
昆虫類	追加	スジクワガタ	<i>Doreus striatipennis striatipennis</i> Motschulsky, 1862		VU-g		C	クスギ・コナラ林の減少。
昆虫類	追加	クスベニカミキリ	<i>Pyrestes nipponicus</i> Hayashi, 1987		VU-g		C	クスノキ科のクス、タブ、ヤブニッケイ、アブラチャンを寄主とする。これらの樹種が豊かな自然林の減少のため。
昆虫類	追加	スキバホウジャク	<i>Hemaris radians</i> (Walker, 1856)		VU-g	VU	B	近年、産地・個体数とも減少。環境省区分変更。
昆虫類	追加	ヤクシマトゲオトンボ	<i>Rhipidolestes yakusimensis</i> Asahina, 1951		NT-r		B	近年、産地・個体数とも減少。
昆虫類	追加	ウンゼンツユムシ	<i>Ducetia unzenensis</i> Yamasaki, 1983		NT-r		C	近年、産地・個体数とも減少。
昆虫類	追加	アシナガナガカメムシ	<i>Poeantius lineatus</i> Stål, 1874		NT-r	NT	B	近年、産地・個体数とも減少。環境省区分変更。
昆虫類	追加	コマルケシゲンゴロウ	<i>Hydrovatus acuminatus</i> Motschulsky, 1859		NT-r	NT	B	近年、産地・個体数とも減少。環境省区分変更。
昆虫類	追加	ルリナカボソタマムシ	<i>Coraeus nipponicus</i> Lewis, 1894		NT-r		C	ホウロクイチゴは減少していないため、原因は不明だが、成虫の採集例が減少。
昆虫類	追加	トガリバシラホシナガタマムシ	<i>Agrilus tokyoensis</i> Y. Kurosawa, 1985		NT-r		C	クスギ林の減少のため。
昆虫類	追加	ナガイクシヒゲベニボタル	<i>Macrolycus nagaii</i> Nakane, 1994		NT-r		B	近年、産地・個体数とも減少。
昆虫類	追加	クロソンホソハナカミキリ	<i>Mimotrangalia kurosonensis</i> (Ohbayashi, 1936)		NT-r		C	ハイノキが生育する自然林の減少。
昆虫類	追加	コバネゴマフカミキリ	<i>Mesosa (Metamesosa) nomurai</i> Hayashi, 1964		NT-r		B	クロマツの減少。
昆虫類	追加	ツチイロフトヒゲカミキリ	<i>Dolophrades terrenus</i> Bates, 1884		NT-r		C	ホオノキが生育する自然林の減少。
昆虫類	追加	エゾナガヒゲカミキリ	<i>Hirtaeschopalaea nubila</i> (Matsushita, 1933)		NT-r		C	ニガキが生育する自然林の減少。

宮崎県版レッドリスト（2020年度改訂版） カテゴリー等変更理由一覧

分類群	追加 変更	種名（種・亜種・変種）	学名	旧宮崎県 区分	新宮崎県 区分	環境省 区分	種の 重要度	変更理由
昆虫類	追加	ジュウニキボシカミキリ	<i>Paramnesia theaphia</i> (Bates, 1884)		NT-r		C	ハリギリ、タラノキ、シナノキなどが生育する自然林の減少。
昆虫類	追加	ヒゲナガヒメリカミキリ	<i>Prasalia citrinipes citrinipes</i> Bates, 1884		NT-r		C	ヤブニッケイ、カゴノキ、アブラチャンなどが生育する自然林の減少。
昆虫類	追加	ベッコウハナアブ	<i>Volucella jeddona</i> Bigot, 1878		NT-r		C	近年、産地・個体数とも減少。
昆虫類	追加	フタガタハラブトハナアブ	<i>Mallota cristalliformis</i> Sack, 1910		NT-r		C	近年、産地・個体数とも減少。
昆虫類	追加	ムツホシナガハナアブ	<i>Milesia oshimaensis</i> Shiraki, 1930		NT-r		C	近年、産地・個体数とも減少。
昆虫類	追加	ニホンセセリモドキ	<i>Hyblaea fortissima</i> Butler, 1881		NT-r		B	近年、産地・個体数とも減少。
昆虫類	追加	ハガタマエチャナミシヤク	<i>Acolutha pulchella semifulva</i> Warren, 1905		NT-r		B	近年、産地・個体数とも減少。
昆虫類	追加	テイキチシヤチホコ	<i>Stauropus teikichianus</i> Matsumura, 1929		NT-r		C	近年、産地・個体数とも減少。
昆虫類	追加	クロモンオビリング	<i>Gelastocera rubicundula</i> (Wileman, 1911)		NT-r		C	近年、産地・個体数とも減少。
昆虫類	追加	マメキシタバ	<i>Catocala duplicata</i> Butler, 1885		NT-r		C	近年、産地・個体数とも減少。
昆虫類	追加	アミメキシタバ	<i>Catocala hyperconnexa</i> Sugi, 1965		NT-r		C	近年、産地・個体数とも減少。
昆虫類	追加	コトラガ	<i>Mimusemia persimilis</i> Butler, 1875		NT-r		C	近年、産地・個体数とも減少。
昆虫類	追加	オオシモフリヨトウ	<i>Polia goliath</i> (Oberthür, 1880)		NT-r		B	近年、産地・個体数とも減少。
昆虫類	追加	トラフシジミ	<i>Rapala arata</i> (Bremer, 1861)		NT-r		C	近年、産地・個体数とも減少。
昆虫類	追加	オグマサナエ	<i>Trigomphus ogumai</i> (Asahina, 1949)		NT-g		C	近年、産地・個体数とも減少。
昆虫類	追加	キトンボ	<i>Sympetrum croceolum</i> (Selys, 1883)		NT-g		C	近年、産地・個体数とも減少。
昆虫類	追加	リスアカネ	<i>Sympetrum risi risi</i> Bartenev, 1914		NT-g		C	近年、産地・個体数とも減少。
昆虫類	追加	マツムシモドキ	<i>Aphonoides japonicus</i> (Shiraki, 1930)		NT-g		C	アオマツムシと競合し、減少が懸念される。
昆虫類	追加	ハマスズ	<i>Dianemobius csikii</i> (Bolivar, 1901)		NT-g		C	海岸環境の変化のより減少。
昆虫類	追加	タイコウチ	<i>Laccotrepes japonensis</i> Scott, 1874		NT-g		C	近年、産地・個体数とも減少。
昆虫類	追加	ケシゲンゴロウ	<i>Hyphydrus japonicus japonicus</i> Sharp, 1873		NT-g	NT	A	近年、産地・個体数とも減少。環境省区分変更。
昆虫類	追加	コガシラミズムシ	<i>Pelodytes intermedius</i> (Sharp, 1873)		NT-g		C	近年、産地・個体数とも減少。
昆虫類	追加	キベリクロヒメゲンゴロウ	<i>Ilybius apicalis</i> Sharp, 1873		NT-g	NT	A	近年、産地・個体数とも減少。環境省区分変更。
昆虫類	追加	コシマゲンゴロウ	<i>Hydaticus grammicus</i> (Germar, 1827)		NT-g		C	近年、産地・個体数とも減少。
昆虫類	追加	ガムシ	<i>Hydrophilus acuminatus</i> Motschulsky, 1854		NT-g	NT	B	近年、産地・個体数とも減少。環境省区分変更。
昆虫類	追加	ネプトクワガタ	<i>Aegus laevicollis subnitidus</i> Waterhouse, 1873		NT-g		C	近年、産地・個体数とも減少。
昆虫類	追加	モウセンハナカミキリ	<i>Ephies japonicus japonicus</i> Nakane et Ohbayashi, 1961		NT-g		C	クロキ、ハイノキなどが生育する自然林の減少。
昆虫類	追加	ヒメビロウドカミキリ	<i>Acalolepta degener</i> (Bates, 1873)		NT-g	NT	B	オトコヨモギが生育する草原の減少。
昆虫類	追加	ウマノオバチ	<i>Euurobracom yokahamae</i> (Dalla Torre, 1898)		NT-g	NT	C	近年、産地・個体数とも減少。環境省区分変更。
昆虫類	追加	トゲアリ	<i>Polyrhachis (Polyrhachis) lamellidens</i> F. Smith, 1874		NT-g	VU	C	近年、産地・個体数とも減少。環境省区分変更。
昆虫類	追加	ヤホシホソマダラ	<i>Balatea octomaculata</i> (Bremer, 1861)		NT-g	NT	C	近年、産地・個体数とも減少。環境省区分変更。
昆虫類	追加	ヒメゴマフコヤガ	<i>Metaemene atrigutta maculata</i> (Leech, [1889])		NT-g		C	近年、産地・個体数とも減少。
昆虫類	追加	キシタアツバ	<i>Hypena claripennis</i> (Butler, 1878)		NT-g	NT	C	近年、産地・個体数とも減少。環境省区分変更。
昆虫類	追加	ホソバミツモンケンモン	<i>Cymatophoropsis unca</i> (Houlbert, 1921)		NT-g		C	近年、産地・個体数とも減少。
昆虫類	追加	ウスイロキョトウ	<i>Mythimna inanis</i> (Oberthür, 1880)		NT-g		C	近年、産地・個体数とも減少。
昆虫類	追加	ダイミョウセセリ	<i>Tagiades tethys</i> (Ménétrières, 1857)		NT-g		C	近年、県南での減少が著しい。
昆虫類	追加	ハネナシコオロギ	<i>Goniogryllus sexspinosus</i> Ichikawa, 1987		DD-2		C	シカの食害による長期的な影響の可能性がある。
昆虫類	追加	アソキマダラウマ	<i>Neotachycines asoensis</i> Sugimoto et Ichikawa, 2003		DD-2		B	かなりな減少が見込まれるが詳細不明。
昆虫類	追加	コバネコロギス	<i>Metriogryllacris magna</i> (Matsumura et Shiraki, 1908)		DD-2		C	かなりな減少が見込まれるが詳細不明。
昆虫類	追加	ヒメツユムシ	<i>Leptoptera sp. 1</i>		DD-2		C	かなりな減少が見込まれるが詳細不明。
昆虫類	追加	アシグロツユムシ	<i>Phaneroptera nigroantennata</i> (Brunner von wattenwyl, 1878)		DD-2		C	かなりな減少が見込まれるが詳細不明。
昆虫類	追加	ヤマクダマキモドキ	<i>Holochlora longifissa</i> Matsumura et Shiraki, 1908		DD-2		C	かなりな減少が見込まれるが詳細不明。
昆虫類	追加	タイワシクダマキモドキ	<i>Ruidocollaris truncatolobata</i> (Brunner von Wattenwyl, 1878)		DD-2		C	かなりな減少が見込まれるが詳細不明。
昆虫類	追加	コバネイナゴ	<i>Oxya yezoensis</i> Shiraki, 1910		DD-2		B	かなりな減少が見込まれるが詳細不明。
昆虫類	追加	フクロクヨコバイ	<i>Glossocratus fukuroki</i> (Matsumura, 1905)		DD-2	NT	C	かなりな減少が見込まれるが詳細不明。環境省区分変更。
昆虫類	追加	ミヤケミズムシ	<i>Xenocorixa vittipennis</i> (Horváth, 1879)		DD-2	NT	C	かなりな減少が見込まれるが詳細不明。環境省区分変更。
昆虫類	追加	リンゴクロカスミカメ	<i>Pseudophyllus flavipes</i> (Nitobe, 1906)		DD-2	NT	C	かなりな減少が見込まれるが詳細不明。環境省区分変更。
昆虫類	追加	オオアシナガサシガメ	<i>Gardena melinarthrum</i> Dohrn, 1860		DD-2	NT	B	かなりな減少が見込まれるが詳細不明。環境省区分変更。
昆虫類	追加	ゴミアシナガサシガメ	<i>Myiophanes tipulina</i> Reuter, 1881		DD-2	VU	C	かなりな減少が見込まれるが詳細不明。環境省区分変更。
昆虫類	追加	アシボソトビイロサシガメ	<i>Caenus noctulus</i> Hsiao, 1977		DD-2	NT	C	かなりな減少が見込まれるが詳細不明。環境省区分変更。
昆虫類	追加	シロヘリツチカメムシ	<i>Canthophorus niveimarginatus</i> Scott, 1874		DD-2	NT	C	かなりな減少が見込まれるが詳細不明。環境省区分変更。
昆虫類	追加	クロコウスバカゲロウ	<i>Myrmeleon bore</i> (Tjeder, 1941)		DD-2		B	かなりな減少が見込まれるが詳細不明。
昆虫類	追加	フタモンマルクビゴミムシ	<i>Nebria (Eunebria) pulcherrima pulcherrima</i> Bates, 1873		DD-2	EN	A	かなりな減少が見込まれるが詳細不明。環境省区分変更。
昆虫類	追加	スナハラゴミムシ	<i>Diplocheila elongata</i> (Bates, 1873)		DD-2	VU	B	かなりな減少が見込まれるが詳細不明。環境省区分変更。

宮崎県版レッドリスト（2020年度改訂版） カテゴリー等変更理由一覧

分類群	追加 変更	種名（種・亜種・変種）	学名	旧宮崎県 区分	新宮崎県 区分	環境省 区分	種の 重要度	変更理由
昆虫類	追加	ヒトツメアオゴミムシ	<i>Callistoides deliciolus</i> (Bates, 1873)		DD-2	NT	C	かなりな減少が見込まれるが詳細不明。環境省区分変更。
昆虫類	追加	オオトックリゴミムシ	<i>Oodes vicarius</i> Bates, 1873		DD-2	NT	C	かなりな減少が見込まれるが詳細不明。環境省区分変更。
昆虫類	追加	アリスアトキリゴミムシ	<i>Lachnoderma asperum</i> Bates, 1883		DD-2	DD	B	かなりな減少が見込まれるが詳細不明。環境省区分変更。
昆虫類	追加	キボシケシゲンゴロウ	<i>Allopathria flavomaculata</i> (Kamiya, 1938)		DD-2		C	かなりな減少が見込まれるが詳細不明。
昆虫類	追加	ニッボンミズスマシ	<i>Gyrinus</i> (<i>Gyrinus</i>) <i>niponicus</i> Brinck, 1941		DD-2	DD	B	かなりな減少が見込まれるが詳細不明。環境省区分変更。
昆虫類	追加	ヤマトホソガムシ	<i>Hydrochus japonicus</i> Sharp, 1873		DD-2	NT	A	かなりな減少が見込まれるが詳細不明。環境省区分変更。
昆虫類	追加	スジヒラタガムシ	<i>Helochares nipponicus</i> Hebauer, 1995		DD-2	NT	B	かなりな減少が見込まれるが詳細不明。環境省区分変更。
昆虫類	追加	ヤマトモンシデムシ	<i>Nicrophorus japonicus</i> Harold, 1877		DD-2	NT	B	かなりな減少が見込まれるが詳細不明。環境省区分変更。
昆虫類	追加	コブナシコブスジコガネ	<i>Trox nohirai</i> Nakane, 1954		DD-2		B	かなりな減少が見込まれるが詳細不明。
昆虫類	追加	ニシコルリクワガタ（九州亜種）	<i>Platycerus viridicuprus</i> kanadai K. Kubota, N. Kubota et Otake, 2008		DD-2		B	かなりな減少が見込まれるが詳細不明。
昆虫類	追加	ツヤケシマグソコガネ	<i>Aphodius</i> (<i>Nipponaphodius</i>) <i>gotoi</i> Nomura et Nakane, 1951		DD-2	VU	B	かなりな減少が見込まれるが詳細不明。環境省区分変更。
昆虫類	追加	ヨコミゾドロムシ	<i>Leptelmis gracilis gracilis</i> Sharp, 1888		DD-2	VU	B	かなりな減少が見込まれるが詳細不明。環境省区分変更。
昆虫類	追加	ヘリアカクシヒゲボタル	<i>Cyphonocerus marginatus</i> Lewis, 1895		DD-2		C	かなりな減少が見込まれるが詳細不明。
昆虫類	追加	アオイハネナシナガクチキ	<i>Nipponomarolia nagaii</i> Nakane, 1989		DD-2		B	かなりな減少が見込まれるが詳細不明。
昆虫類	追加	キバラハキリバチ	<i>Megachile</i> (<i>Amegachile</i>) <i>xanthothrix</i> Yasumatsu et Hirashima, 1964		DD-2	NT	C	かなりな減少が見込まれるが詳細不明。環境省区分変更。
昆虫類	追加	コマバムツホシヒラタアブ	<i>Scaeva komabensis</i> (Matsumura, 1917)		DD-2		B	かなりな減少が見込まれるが詳細不明。
昆虫類	追加	クロベッコウハナアブ	<i>Volucella nigricans</i> Coquillett, 1898		DD-2		C	かなりな減少が見込まれるが詳細不明。
昆虫類	追加	シロスジベッコウハナアブ	<i>Volucella pellucens</i> tabanoides Motschulsky, 1859		DD-2		C	かなりな減少が見込まれるが詳細不明。
昆虫類	追加	ルリハナアブ	<i>Kertesziomyia viridis</i> (Conquillett, 1898)		DD-2		B	かなりな減少が見込まれるが詳細不明。
昆虫類	追加	カクモンハラブトハナアブ	<i>Mallota abdominalis</i> (Sack, 1927)		DD-2		B	かなりな減少が見込まれるが詳細不明。
昆虫類	追加	シロスジナガハナアブ	<i>Milesia undulata</i> Vollenhoven, 1863		DD-2		C	かなりな減少が見込まれるが詳細不明。
昆虫類	追加	スカシカレハ	<i>Amurilla subpurpurea</i> (Butler, 1881)		DD-2		B	かなりな減少が見込まれるが詳細不明。
昆虫類	追加	クロウスタビガ	<i>Rhodinia jankowskii</i> (Oberthür, 1880)		DD-2		B	かなりな減少が見込まれるが詳細不明。
昆虫類	追加	クワヤマエグリシャチホコ	<i>Ptilodon kuwayamae</i> (Matsumura, 1919)		DD-2	NT	C	かなりな減少が見込まれるが詳細不明。環境省区分変更。
昆虫類	追加	カバイロシャチホコ	<i>Ramesa tosta</i> Walker, 1855		DD-2	NT	C	かなりな減少が見込まれるが詳細不明。環境省区分変更。
昆虫類	追加	クロバネヒトリ	<i>Lemyra infernalis</i> (Butler, 1877)		DD-2		C	かなりな減少が見込まれるが詳細不明。
昆虫類	追加	ムラサキミツボシアツバ	<i>Hypena narratalis</i> Walker, 1859		DD-2		B	かなりな減少が見込まれるが詳細不明。
昆虫類	追加	ウスエグリバ	<i>Calyptra thalictri</i> (Borkhausen, 1790)		DD-2		C	かなりな減少が見込まれるが詳細不明。
昆虫類	追加	マホロバキシタバ	<i>Catocala naganoi</i> mahoroba Ishizuka et Kishida, 2019		DD-2		B	かなりな減少が見込まれるが詳細不明。
昆虫類	追加	シロシタバ	<i>Catocala nivea</i> Butler, 1877		DD-2		C	かなりな減少が見込まれるが詳細不明。
昆虫類	追加	クビグロケンモン	<i>Acrionicta digna</i> (Butler, 1881)		DD-2	NT	C	かなりな減少が見込まれるが詳細不明。環境省区分変更。
昆虫類	追加	ツリフネソウトラガ	<i>Sarbanissa yunnana</i> (Mell, 1936)		DD-2	NT	C	かなりな減少が見込まれるが詳細不明。環境省区分変更。
昆虫類	追加	ゴマフオオソバ	<i>Agrisius fuliginosus</i> Moore, 1872		DD-2		C	かなりな減少が見込まれるが詳細不明。環境省区分変更。
昆虫類	追加	ミスジキリガ	<i>Jodia sericea</i> (Butler, 1878)		DD-2	NT	C	かなりな減少が見込まれるが詳細不明。
昆虫類	追加	キタヤチズズ	<i>Pteronemobius</i> sp.B		OT-1		B	個体数の変動は不明ながら、南限地域として重要な種。特に霧島山は分断的分布をしている。
昆虫類	追加	サイゴクイナゴ	<i>Oxya occidentalis</i> Ichikawa, 2001		OT-1		C	発生状況は安泰しているが、近縁種との交雑など純系が減少。種として重要と思われる。
昆虫類	追加	霧島山のミナミササキリモドキ	<i>Tettigoniopsis hikosana</i> (Yamasaki, 1983)		OT-2		C	孤立的分布で、他の地域と形態的な変化がある。

宮崎県版レッドリスト（2020年度改訂版） カテゴリー等変更理由一覧

分類群	追加 変更	種名（種・亜種・変種）	学名	旧宮崎県 区分	新宮崎県 区分	環境省 区分	種の 重要度	変更理由
クモ類	変更	キノボリトタテグモ	<i>Conothele fragaria</i> (Dönitz, 1887)	NT-g	NT-g	NT	C	絶滅・減少の原因等の変更。
クモ類	変更	ワスレナグモ	<i>Calommata signata</i> (Karsch, 1879)	NT-g	NT-g	NT	C	種の特性的変更。
クモ類	追加	シノビグモ	<i>Shinobius orientalis</i> (Yaginuma, 1967)		DD-2		C	九州初記録による。愛知県ではEN。今回えびの市で確認された。

宮崎県版レッドリスト（2020年度改訂版） カテゴリー等変更理由一覧

分類群	追加 変更	種名（種・亜種・変種）	学名	旧宮崎県 区分	新宮崎県 区分	環境省 区分	種の 重要度	変更理由
甲殻類	変更	クマノエミオスジガニ	<i>Deiratonotus kaoriae</i> Miura et al, 2007	CR-r	CR-r	CR	A	環境省変更。原記載地。県内生息地は1カ所。
甲殻類	変更	ムツハアリアケガニ	<i>Camptandrium sexdentatum</i> Stimpson, 1858	CR-r	CR-r	NT	A	環境省変更。
甲殻類	変更	ウモレベンケイガニ	<i>Clistocoeloma sinense</i> Shen, 1933	CR-r	CR-r	VU	A	環境省変更。
甲殻類	変更	フタハピンノ	<i>Pinnotheres bidentatus</i> Sakai, 1984	VU-r	CR-r	VU	A	環境省変更。県内生息地は1カ所。宿主貝が減少傾向にある。
甲殻類	変更	ピンノヤドリムシ	<i>Heterocephon marginatum</i> Shiino, 1936	VU-r	CR-r		A	宿主の県内生息地は1カ所。超宿主が減少傾向。
甲殻類	変更	シオマネキ	<i>Tubuca arcuata</i> (de Haan, 1833)	CR-g	CR-g	VU	A	学名の変更。
甲殻類	変更	フジテガニ	<i>Clistocoeloma villosum</i> (A.Milne-Edwards, 1869)	CR-r	VU-r	NT	A	生息地でのやや安定した状況を確認。
甲殻類	変更	ミナミアシハラガニ	<i>Pseudohelice subquadrata</i> (Dana, 1851)	CR-r	VU-r	NT	A	生息地でのやや安定した状況を確認。
甲殻類	変更	ヤドリカニダマシ	<i>Polyonyx sinensis</i> Stimpson, 1858	VU-r	VU-r	NT	A	環境省変更。宿主であるムギワラムシ生息地の減少。
甲殻類	変更	トリウミアカインモドキ	<i>Sestrostom toriumii</i> (Takeda, 1974)	VU-r	VU-r	NT	A	環境省変更。
甲殻類	変更	クシテガニ	<i>Parasarma plicatum</i> (Latreille, 1803)	VU-r	VU-r	NT	A	環境省変更。
甲殻類	変更	ヒメヒライソモドキ	<i>Ptychognathus capillidigitatus</i> Takeda, 1984	VU-r	VU-r	NT	B	環境省変更。
甲殻類	変更	トミオカカリアブセウデス	<i>Kalliapseudes</i> (<i>Kalliapseudes</i>) <i>tomiokaensis</i> Shiino, 1966	NT-r	VU-r		A	他県の原記載地で未確認、県内生息地は1カ所。
甲殻類	変更	アリアケモドキ	<i>Deiratonotus cristatum</i> (de Man, 1895)	VU-r	NT-r		A	生息地でのやや安定した状況を確認。
甲殻類	変更	チゴイワガニ	<i>Ilyograpsus nodulosus</i> Sakai, 1983	VU-r	NT-g		A	生息地を追加で確認。
甲殻類	変更	マメコブシガニ	<i>Philyra pisum</i> de Haan, 1841	VU-g	NT-g		C	生息密度は低い、県内各所で確認。
甲殻類	変更	タイワンヒライソモドキ	<i>Ptychognathus ishii</i> Sakai, 1939	VU-g	NT-g	NT	B	生息密度は低い、県内各所で確認。
甲殻類	変更	カワスナガニ	<i>Deiratonotus japonicus</i> (Sakai, 1934)	VU-g	NT-g	NT	A	生息密度は低い、県内の複数河川に生息。
甲殻類	変更	ハクセンシオマネキ	<i>Austruca lactea</i> (de Haan, 1835)	NT-g	NT-g	VU	B	学名変更。
甲殻類	変更	ヒメヤマトオサガニ	<i>Macrophthalmus banzai</i> Wada and Sakai, 1989	NT-g	NT-g	NT	C	環境省変更。
甲殻類	変更	アカテノコギリガザミ	<i>Scylla olivacea</i> (Herbst, 1796)	NT-g	NT-g	DD	A	環境省変更。
甲殻類	変更	ヒメアシハラガニ	<i>Helicana japonica</i> (K. Sakai & Yatsuzuka, 1980)	NT-g	NT-g	NT	C	環境省変更。
甲殻類	変更	ハマガニ	<i>Chasmagnathus convexus</i> (de Haan, 1835)	NT-g	NT-g	NT	C	環境省変更。
甲殻類	変更	アゴヒロカワガニ	<i>Ptychognathus altimanus</i> (Rathbun, 1914)	DD-2	DD-2	NT	A	環境省変更。
甲殻類	変更	ヒメアカイソモドキ	<i>Acmacopleura depressa</i> Sakai, 1965	DD-2	DD-2	DD	A	環境省変更。
甲殻類	追加	マルピンノ	<i>Pinnotheres cyclinus</i> (Shen, 1932)		VU-r	VU	A	環境省に準拠。県内生息地は1カ所。
甲殻類	追加	ヒメケフサイソガニ	<i>Hemigrapsus sinensis</i> Rathbun, 1931		NT-r	NT	A	環境省に準拠。県内生息地ではやや安定。
甲殻類	追加	ウミホタルガクレ	<i>Onisocryptus ovalis</i> Shiino, 1942		NT-r	NT	A	県内生息確認地は1カ所。

宮崎県版レッドリスト（2020年度改訂版） カテゴリー等変更理由一覧

分類群	追加 変更	種名（種・亜種・変種）	学名	旧宮崎県 区分	新宮崎県 区分	環境省 区分	種の 重要度	変更理由
貝類	変更	イリエゴウナ(=?オオヒサスケゴウナ)	<i>Ebala</i> sp.	CR-r	CR-r	NT	A	分類上の問題(和名が変更される可能性がある)
貝類	変更	シイノミミミガイ	<i>Cassidula plecotrematoides japonica</i> Mollendorff, 1901	CR-r	CR-r	CR+EN	A	学名変更。
貝類	変更	ナラビオカミミガイ	<i>Auriculastra duplicata</i> (Pfeiffer, 1854)	EN-r	VU-r	VU	B	全国で減少傾向。宮崎では生息地の確認の一方で、海岸改変の影響が懸念される。
貝類	変更	ヒロクチカノコ	<i>Neripteron (Dostia) pileolus</i> (Récluz, 1850)	VU-r	VU-r	NT	B	学名変更(環境省に準拠)。県内複数箇所確認。
貝類	変更	タケノコカワニナ	<i>Stenomelania rufescens</i> (Martens, 1860)	EN-g	VU-g	VU	A	宮崎では河川改変の影響が懸念される。
貝類	変更	マシジミ	<i>Corbicula leana</i> (Prime, 1864)	NT-g	VU-g	VU	B	外来種タイワンシジミの影響で激減した。
貝類	変更	カワアイ	<i>Cerithidea (Cerithideopsis) djadjariensis</i> (Martin, 1899)	NT-g	VU-g	VU	B	調査の進展により、生息地の減少傾向が判明。
貝類	変更	ハマグリ	<i>Meretrix lusoria</i> (Roding, 1798)	NT-g	VU-g	VU	A	近年採捕圧力が増大し、大型個体が得られなくなった。
貝類	変更	カガミガイ	<i>Phacosoma japonicum</i> (Reeve, 1850)	NT-g	VU-g		B	宮崎では、急激に従来の生息地に確認できないことが多くなった。
貝類	変更	カニノテムシロ	<i>Pliarcularia bellula</i> (A.Adams, 1852)	CR-r	NT-r	NT	A	国内・宮崎県内で新たな生息地・安定個体群等が確認される。
貝類	変更	ヨコスジギリ	<i>Parthenina affectuosa</i> (Yokoyama, 1927)	NT-r	NT-r	NT	A	調査が進展し、新たな生息地も確認。和名の変更。
貝類	変更	ミヤコドリ	<i>Phenacolepas (Cinnalepeta) pulchella</i> (Lischke, 1871)	NT-r	NT-g	NT	A	汽水産。貧酸素域環境に生息。県内複数箇所確認。
貝類	変更	ナミギセル	<i>Stereophaedusa (Stereophaedusa) japonica japonica</i> (Crosse, 1871)	VU-g	NT-r		C	新しい産地が複数見つかった。
貝類	変更	シオヤガイ	<i>Anomalocardia squamosa</i> (Linnaeus, 1758)	CR-g	NT-g	NT	A	宮崎県内の個体群では幼貝の加入が安定して確認される。
貝類	変更	ハボウキ	<i>Pinna bicolor</i> Gmelin, 1791	VU-r	NT-g	NT	A	宮崎では海岸・河川改変の影響が懸念されるが、新たな生息地も確認。
貝類	変更	イボキサゴ	<i>Umbonium moniliferum</i> (Lamarck, 1822)	VU-g	NT-g	NT	B	宮崎では海岸・河川改変の影響が懸念されるが、新たな生息地も確認。
貝類	変更	ツバカワザンショウ	<i>Assiminea estuarina</i> Habe, 1946	VU-g	NT-g	NT	C	宮崎では海岸・河川改変の影響が懸念されるが、新たな生息地も確認。
貝類	変更	オチバ	<i>Gari (Psammotaea) virescens</i> (Deshayes, 1855)	VU-g	NT-g	NT	C	調査が進展し、新たな生息地も確認。和名と学名の変更。
貝類	変更	ハザクラ	<i>Psammotaea minor</i> (Deshayes, 1855)	VU-g	NT-g	NT	C	調査が進展し、新たな生息地も確認。和名の変更。
貝類	変更	オキモドキギセル	<i>Stereophaedusa okimodoki</i> Minato & Tada, 1990	NT-g	NT-g	NT	B	学名変更。
貝類	変更	オオミカヅキイトカゲギリ	<i>Eulimella</i> sp.	NT-r	DD-1		A	調査を継続しているが近年採取できていない。宮崎固有種の可能性。
貝類	変更	イボイボナメクジsp.A	<i>Granulilimax</i> sp. A	DD-1	DD-1		A	別種のイボイボナメクジの仲間が見つかったため、和名変更。
貝類	追加	モバヒサスケゴウナ	<i>Murchisonella</i> sp.		CR-r		A	汽水産、宮崎のみに生体が確認された「生きた化石」の一つ。
貝類	追加	ウラウズタカキビ	<i>Coneuplecta</i> sp.		VU-r		B	発見された。
貝類	追加	ホテイキビ(仮称)	<i>Trochochlamys</i> sp.		VU-r		B	発見された。
貝類	追加	ミジンゴマツボ	<i>Liroceratia sulcata</i> (Böttger, 1893)		VU-r	VU	B	汽水産、環境省RL準拠。
貝類	追加	ウミコハクガイ	<i>Teinostoma lucida</i> A. Adams, 1863		VU-r	VU	B	汽水産、環境省RL準拠。
貝類	追加	マルテンスマツムシ	<i>Mitrella (Indomitrella) martensi</i> (Lischke, 1871)		VU-g	CR+EN	B	汽水産、環境省RL準拠。
貝類	追加	キジビキカノコ	<i>Neripteron (Pseudonerita) spiralis</i> (Reeve, 1856)		NT-r	NT	A	汽水産、環境省RL準拠。
貝類	追加	ツバサカノコ	<i>Neripteron subauriculatum</i> (Récluz, 1843)		NT-r	NT	B	汽水産、環境省RL準拠。
貝類	追加	コウモリカノコ	<i>Neripteron auriculatum</i> (Lamarck, 1816)		NT-r	NT	B	汽水産、環境省RL準拠。
貝類	追加	ナギツボ	<i>Vitrinella</i> sp.		NT-r	NT	B	汽水産、環境省RL準拠。
貝類	追加	ホソタマゴガイ	<i>Limulatus ooformis</i> Habe, 1952		NT-r	NT	B	汽水産、環境省RL準拠。
貝類	追加	キヌタレガイ	<i>Solemya (Petrasma) pusilla</i> (Gould, 1861)		NT-r	NT	B	汽水産、環境省RL準拠。
貝類	追加	ニセゴマツボ	<i>Pellamora reflecta</i> Laseron, 1956		NT-r	NT	B	汽水産、環境省RL準拠。
貝類	追加	フトクビムシオイ(仮称)	<i>Chamalycaeus</i> sp.		NT-g		C	研究が進み新種であることが分かった。
貝類	追加	コガタシロヒメベッコウ(仮称)	<i>Discoconulus</i> sp.		NT-g		B	研究が進み新種であることが分かった。
貝類	追加	ニチナンギセル(新称)	<i>Stereophaedusa</i> sp.		NT-g		B	研究が進み新種であることが分かった。ほぼ宮崎のみに生息。
貝類	追加	ヌノメチョウジガイ	<i>Rissoina (Phosinella) pura</i> (Gould, 1861)		NT-g	NT	B	汽水産、環境省RL準拠。
貝類	追加	テングニシ	<i>Hemifusus tuba</i> (Gmelin, 1781)		NT-g	NT	B	岩礁海岸・沖合、環境省RL準拠。混獲による減少。
貝類	追加	オニサザエ	<i>Chicoreus (Chicoreus) asianus</i> Kuroda, 1942		NT-g	NT	B	岩礁海岸、環境省RL準拠。
貝類	追加	マクラガイ	<i>Oliva mustelina</i> Lamarck, 1811		NT-g	NT	B	砂浜性、環境省RL準拠。
貝類	追加	クチバガイ	<i>Coecella chinensis</i> Deshayes, 1855		NT-g	NT	B	汽水産、環境省RL準拠。
貝類	追加	ケマンガイ	<i>Gafrarium divaricatum</i> (Gmelin, 1791)		NT-g	NT	B	汽水産、環境省RL準拠。
貝類	追加	アシバマスオ	<i>Soletellina petalina</i> (Deshayes, 1885)		NT-g	DD	B	汽水産、環境省RL準拠。
貝類	追加	クリイロカワザンショウ	<i>Augustassiminea castanea</i> (Westerlund, 1883)		NT-g	NT	B	汽水産、環境省RL準拠。
貝類	追加	ヨシダカワザンショウ	<i>Assiminea (?) yoshidayukioi</i> Kuroda, 1959		NT-g	NT	B	汽水産、環境省RL準拠。
貝類	追加	ウズザクラ	<i>Nitidotellina minuta</i> (Lischke, 1872)		NT-g	NT	B	汽水産、環境省RL準拠。
貝類	追加	フジノハナガイ	<i>Chion semigranosa</i> (Dunker, 1877)		NT-g	NT	B	砂浜性、環境省RL準拠。
貝類	追加	モバタテヨイトカケ	<i>Epitonium cf. eutaenium</i> Dall, 1917		NT-g		A	汽水産、アマモ場に特徴的な貝の一つで宮崎以外では国内記録がない。
貝類	追加	ヒナタムシヤドリカワザンショウ	<i>Assiminea</i> sp.		NT-g	NT	B	汽水産、環境省RL準拠。
貝類	追加	ウネボラ	<i>Gyrineum natator</i> (Röding, 1798)		NT-g	VU	B	岩礁海岸、環境省RL準拠。
貝類	追加	ズベタイラギ(タイラギ)	<i>Atrina (Servatrina) japonica</i> (Clessin, 1891)		NT-g	NT	B	汽水産、環境省RL準拠。
貝類	追加	イボイボナメクジsp.B	<i>Granulilimax</i> sp. B		DD-1		B	発見された。

宮崎県版レッドリスト（2020年度改訂版） カテゴリー等変更理由一覧

分類群	追加 変更	種名（種・亜種・変種）	学名	旧宮崎県 区分	新宮崎県 区分	環境省 区分	種の 重要度	変更理由
貝類	追加	コウラナメクジsp.	Deroceras sp.		DD-1		C	発見された。
貝類	追加	マメシジミsp.	Pisidiidae sp.		DD-1		A	発見された。
貝類	追加	イソチドリ	Anathina tricarinata (Linnaeus, 1767)		DD-1	CR+EN	A	汽水産、環境省RL準拠。
貝類	追加	カスミスジカイコガイダマシ	Cylichnatys angusta (Gould 1859)		DD-1	VU	B	汽水産、環境省RL準拠。
貝類	追加	イセシラガイ	Andontia stearnsiana Oyama, 1954		DD-1	CR+EN	B	汽水産、環境省RL準拠。
貝類	追加	アリンガイ	Coelomactra antiquata (Spengler, 1802)		DD-1	VU	B	汽水産、環境省RL準拠。
貝類	追加	ベニガイ	Pharaonella sieboldii (Deshayes, 1855)		DD-2	NT	B	砂浜性、環境省RL準拠。
貝類	追加	ハツカネズミ	Macromphalus tornatilis (Gould, 1859)		DD-2	CR+EN	B	汽水産、環境省RL準拠。
貝類	追加	セキモリ	Epitonium robillardi (G. B. Sowerby III, 1894)		DD-2	NT	B	汽水産、環境省RL準拠。
貝類	追加	トガリユウシオガイ	Moerella nishimurai Kuroda & Habe in Habe, 1958		DD-2	NT	B	汽水産、環境省RL準拠。
貝類	追加	ヒメシオガマ	Cycladicama abbreviata (Gould, 1861)		DD-2		B	汽水産、環境の良好な汽水域でのみ見ついている。

宮崎県版レッドリスト（2020年度改訂版） カテゴリー等変更理由一覧

分類群	追加 変更	種名（種・亜種・変種）	学名	旧宮崎県 区分	新宮崎県 区分	環境省 区分	種の 重要度	変更理由
その他無脊椎	追加	ツバサゴカイ	<i>Chaetopterus cautus</i> Marenzeller, 1879		CR-g	CR+EN	A	他の危惧種のホストで、汽水環境の悪化に弱い。
その他無脊椎	追加	ツバサゴカイモドキ	<i>Chaetopterus pacificus</i> Nishi, 2001		CR-g		B	他の危惧種のホストで、汽水環境の悪化に弱い。
その他無脊椎	追加	ヒモイカリナマコ	<i>Patinapta ooplax</i> (von Marenzeller, 1882)		VU-r		A	他の危惧種等のホストで、宮崎では生息地が限られる。
その他無脊椎	追加	ムギワラムシ	<i>Mesochaetopterus japonicus</i> Fujiwara, 1934		VU-g	NT	B	他の危惧種のホストで、汽水環境の悪化に弱い。
その他無脊椎	追加	ムシモドキギンチャク類	<i>Edwardsiidae</i> gen. spp.		NT-g	DD	B	汽水域に多いが、環境悪化の影響を受けやすい。
その他無脊椎	追加	スズメガイダマシ類	<i>Discinidae</i> gen. spp.		NT-g	NT	A	宮崎に3種いると思われるが、詳細を検討中の「生きた化石」。
その他無脊椎	追加	タヌキブシク属の1種	<i>Brissopsis</i> sp.		DD-2	DD	A	宮崎では1カ所で確認されている。
その他無脊椎	追加	マキガイイソギンチャク	<i>Parathus sociatus</i> Uchida, 1940		DD-2	DD	A	宮崎では情報が少ない。アラムシロに付着。
その他無脊椎	追加	タマクラゲ	<i>Cytaeis uchidae</i> Rees, 1962		DD-2		A	宮崎で記録され、減少傾向にあるアマモ場のムシロガイに付着。